官報　第八千二百八十七號　明治四十四年二月八日　水曜日　印刷局

○訓令

朝鮮總督府訓令第十三號

本府各部局課又ハ其ノ職員ノ名ヲ以テ多數ノ所屬官署又ハ其ノ職員等ニ對シ同文通牒等ヲ發スル場合ニ於テハ祕密ヲ要スルモノヲ除クノ外別ニ公文ヲ用非ス朝鮮總督府官報通牒欄ニ掲載スヘシ

明治四十四年二月三日　朝鮮總督　子爵寺內正毅

○告示

鐵道院告示第七號

來三月一日ヨリ院線ト露國各鐵道線トノ間ニ左記各項ニ依リ旅客及手荷物ノ聯絡運輸ヲ開始ス

明治四十四年二月八日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

日滿露聯絡運輸旅客及手荷物賃率規則

第一編　賃率適用規則

甲　總則

第一條

賃率表ニ記載シタル各驛間ノ旅客及手荷物ノ運送ハ以下記載ノ特別規則ニ據リ之ヲ行フ但シ本規則ニ特別ノ規定ナキ場合ハ左ノ規定ニ據ルモノトス

(イ)日本帝國領域內ニ於テハ「鐵道營業法及鐵道運送ニ關スル諸規則」ニ據ル

(ロ)南滿洲鐵道區域內ニ於テハ「南滿洲鐵道旅客及手荷物運送規程」ニ據ル

(ハ)大阪商船株式會社ノ汽船ニ於テハ同會社ノ規則ニ據ル

(ニ)露國義勇艦隊汽船ニ於テハ「義勇艦隊船客運送規則竝ニ賃率規則」ニ據ル

(ホ)東淸鐵道區域內ニ於テハ「東淸鐵道旅客手荷物竝ニ貨物運送規則」ニ據ル

(ヘ)露西亞帝國領域內ニ於テハ露國鐵道一般法令及附屬諸規則ニ據ル

第二條

一　本規則附屬賃率表ニ於テハ旅客及手荷物ノ運賃ハ其ノ運送全距離ニ對スルモノヲ示スモノトス露國ヨリ南滿洲及日本行ノモノハ「留」ヲ以テ計算シ日本及南滿洲發ノモノハ「圓」ヲ以テ計算ス運賃合計ニ於テ五哥若クハ五錢未滿ノモノハ之ヲ五哥又ハ五錢ニ切上クヘシ

二　露國鐵道ノ各驛ニ於テハ乘車船券冊子發賣ノ際露國赤十字社ノ爲メ一乘車船券冊子每ニ五哥ヲ申受ク

三　賃率表ニ示シタル一、二、三等ノ賃金中ニハ乘車船券冊子ノ調製費二十哥又ハ二十錢ヲ含ムモノトス

第三條

本規則ノ實施變更及增補等ニ關スル告示ハ日滿露交通事務管理者タル「露國鐵道國際運輸事務局」ノ請求ニ依リ關係運送業者ハ左記紙上ニ之ヲ掲載ス

日本國有鐵道ハ「滿洲日日新聞」

大阪商船株式會社ハ「大阪朝日新聞」

東淸鐵道ハ「露國各鐵道賃率規則集」

露國各鐵道及露國義勇艦隊ハ「露國各鐵道賃率規則集」

乙　特別規則

第一　旅客運送

時刻表

第四條

旅客運送ハ本交通ノ各驛ニ定時掲示スル鐵道及汽船時刻表ニ依リ之ヲ行フモノトス

乘車船券

第五條

一　本聯絡運輸ノ爲ニ發賣スル乘車船券ハ總テ冊子形ニ依ルモノトス

二　乘車船券冊子各等級ノ色別ハ左ノ如シ

一等　黃色　二等　綠色　三等　褐色

三　乘車船券冊子ハ其ノ表紙及每葉ニ押出シ印ヲ以テ之ヲ發賣セル鐵道名ヲ押捺スルヲ要ス

四　乘車船券冊子ニ編綴スヘキ各區間ノ乘車船券ハ規定ノ樣式ニ依リ之ヲ調製ス

五　乘車船券冊子ニハ記號（セリース）、番號、發著驛名、等級、經由線路、賃金、有效期間及賃率規則ノ摘要ヲ「露」、「英」ノ二國語ヲ以テ記載スヘシ

各區間ノ乘車船券ハ其ノ區間ノ屬スル國ノ國語ヲ以テ印刷スヘシ

本文

乘車船券ノ效力

第六條

一 乘車船券冊子ハ急行列車及普通列車ニ對シ之ヲ發賣ス
急行列車ノ乘車船券冊子ヲ有スル旅客ハ時刻表ニ記載セル總テノ旅客列車ニ乘車スルコトヲ得
急行列車ノ乘車船券冊子ハ一等及二等ニ限リ之ヲ發賣ス但シ日本國有鐵道ノ賃率表ニ特ニ記載セル區間ニ於テハ三等乘車船券冊子所持ノモノト雖モ別ニ急行列車券ヲ購ヒ急行列車ニ乘車スルコトヲ得南滿洲鐵道及哈爾賓長春間ニ於ケル急行列車ニハ當分一等車ノミヲ連結ス

二 寢臺ニ使用シ得ヘキ番號附座席及寢臺車內ノ座席ニ對シテハ旅客ハ賃率表ニ記載セル賃金ノ外別ニ追加料金ヲ支拂フコトヲ要ス
其ノ他露國ノ或鐵道ニ於テハ寢臺ニ使用シ得ヘキ番號附座席ニ對シ寢具使用料ヲ含マサル賃金ヲ支拂ヒタルモノト雖モ別ニ料金ヲ支拂フトキハ寢具ヲ使用スルコトヲ得
乘車船券冊子ヲ購入スヘキ小兒ニシテ番號附座席若クハ寢臺ヲ使用スルトキハ共ノ料金ノ全額ヲ支拂フヘシ

三 急行列車ニ對シ有效ナルカ又ハ「各列車ニ有效」ナル旨ヲ記入セル一等又ハ二等ノ乘車船券冊子ヲ有スル旅客ハ特別追加料金ヲ支拂ヒ萬國寢臺車會社ノ寢臺車ニ乘車スルコトヲ得
「各列車ニ有效」ナル乘車船券冊子ヲ有スル旅客ハセーヴェロザーパドゥヌイヤ線、ワルシャーフスコウェーンスカヤ線、フイリウイスリーンスキヤ線及モスコーフスコプレーストスカヤ線ニ運轉スル萬國寢臺車會社ノ「エキスプレス」ニ乘車スルコトヲ得但シ別ニ左ノ追加料金ヲ支拂フヘシ
（イ）萬國寢臺車會社ノ所得タルヘキ該會社ノ賃率規則ニ規定シアル特別追加料金
（ロ）增加速力ニ對スル左記賃金ノ差額

驛間	乘車券一枚ニ對スル追加額			
	一等		二等	
	大人	小兒	大人	小兒
ウエルジボロウオ、彼得堡間	一〇、九〇	二、七三	—	—
アレキサンドロウオ、莫斯科間	一五、六〇	三、九〇	—	—
アレキサンドロウオ、ワルシャワ間	一、九〇	〇、四八	—	—
グラニーツア、ワルシャワ間	二、三五	〇、五九	—	—
ワルシャワ、莫斯科間	一三、七〇	三、四三	—	—

四 第二項及第三項ノ規定ニ準據シ乘車船券冊子ニ次ノ事項ヲ印刷ス
（イ）急行列車ニ對スル一等及二等乘車船券冊子ニハ
『「エキスプレス」ヲ除キ各列車ニ有效「エキスプレス」又ハ寢臺車ニ乘車シ若クハ番號附座席及寢具ヲ使用セントスルトキハ特別追加料金ヲ支拂フヘシ』
（ロ）普通列車ニ對スル二等及三等乘車船券冊子ニハ
『普通列車ニ有效、寢臺車ニ乘車シ若クハ番號附座席及寢具ヲ使用セントスルトキハ特別追加料金ヲ支拂フヘシ』

五 西伯利急行列車ニ於テハ豫メ座席券ヲ購入セサル旅客ハ空席アル場合ニ限リ右急行列車ニ乘車スルコトヲ得
西伯利急行列車乘車券ノ注文ハ莫斯科、聖彼得堡、イルクーツスク、哈爾賓、浦鹽斯德ヨリ右列車ノ發車十日前迄ニ左ノ場所ニ於テ取扱フ

モスコーフスコクールスカヤ鐵道　莫斯科驛
ニコラエフスカヤ鐵道　聖彼得堡驛
ザバイカーリスカヤ鐵道　イルクーツスク驛
東淸鐵道會社　哈爾賓（市驛）　浦鹽斯德（東淸鐵道代理店）
萬國寢臺車會社　各代理店
日本國有鐵道　鐵道院營業課
大阪商船會社　代理店

六 番號附座席及車室ノ注文ニ對シ關係發驛及各代理店ハ賃率規則ニ依リ特別料金ヲ申受ク
座席注文ニ關シ聖彼得堡、莫斯科、イルクーツスク、哈爾賓若クハ浦鹽斯德ヘ電報ヲ發シタルトキハ共ノ實費ヲ旅客ヨリ申受ク

七 東淸鐵道及南滿洲鐵道ノ急行列車若クハ汽船ニ於ケル番號附座席又ハ寢臺ヲ豫約セントスル者ハ乘車船券冊子購入ノトキ之ヲ注文スルコトヲ得
右ノ注文ニ關シ電報ヲ發シタルトキハ其ノ實費ヲ旅客ヨリ申受ク

八 乘車船券冊子ハ發驛ニ於テ打拔機械ヲ以テ發賣ノ月日ヲ記入セサルモノハ無效トス右月日ハ露國鐵道ノ各驛ニ在リテハ露曆ヲ用ヒ南滿洲鐵道、日本國有鐵道各驛及日本ノ港ニ在リテハ新曆ヲ用フ夜半發車スヘキ列車ニ對シ發賣スル乘車船券冊子ニハ翌日ノ日附印ヲ押捺ス

九 乘車船券冊子ノ有效期間ハ六十日トシ之ヲ該冊子面ニ記載ス期間ハ最終日ノ夜半ヲ以テ終ルモノトス

十 乘車船券冊子有效期間ノ計算ニハ其ノ發賣ノ日ハ全一日トシテ計算ス

旅行ノ中斷

第七條

一 旅行ノ中斷ハ乘車船券冊子ノ各券ニ記載セル終始各驛ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得此ノ場合旅行ノ中斷ニ付驛長ヨリ何等證明ヲ受クル必要ナシ

二 旅客ハ乘車船券冊子ノ有效區域內ニ於テ左記各驛ニ下車シ旅行ヲ中斷スルコトヲ得
露國、東淸、南滿洲鐵道ニ於テ列車發著時刻表ニ依リ停車スル各驛
日本國有鐵道ニ於テハ同時刻表中ニ指定シアル特定下車驛
乘車船券冊子ノ各券ニ記載セル終始各驛以外ノ驛ニ下車セル場合ハ下車後直ニ乘車船券冊子ヲ驛長ニ提出シテ相當ノ證明ヲ受クヘシ此ノ手續ヲ爲サヽルトキハ下車驛ヨリ乘車船券冊子ニ記載シタル次驛迄ノ乘車券ハ其ノ效力ヲ失フモノトス

三 旅行中斷後乘車船券冊子記載ノ有效期間內ニ再ヒ旅行ヲ繼續セントスルモノハ露國、東淸及南滿洲鐵道ノ區域內ニ於テハ少クトモ發車ノ十分以前ニ共ノ乘車船券冊子ヲ出札所ニ提出シ乘車スヘキ列車ノ番號竝ニ月日ノ記入ヲ受クヘシ
乘車船券冊子ノ有效期間內ニ於テハ旅行中斷時間ニ制限ヲ附セス旅行中斷後再ヒ旅行ヲ繼續スル旅客ハ番號附座席又ハ寢臺ノ使用ニ對シテハ更ニ特別追加料金ヲ支拂フヘキモノトス南滿洲鐵道及日本國有鐵道ニ於テ再ヒ急行列車ニ乘繼ヲ爲ストキハ更ニ急行列車券ヲ購入スルコトヲ要ス

小兒ノ乘行

第八條

一 （イ）滿五歲迄ノ小兒ニシテ特ニ座席ヲ使用セサルモノハ無賃トス
（ロ）滿五歲ヨリ滿十歲迄ノ小兒竝ニ特ニ座席ヲ使用スル滿五歲迄ノ小兒ハ割引シタル小兒用乘車船券冊子ニ由リ之ヲ運送ス此ノ場合ニ於テハ大人用乘車船券冊子ニ編綴シアル小兒用調査券ノ右方半部ヲ切斷シ且ツ同冊子ノ表紙竝ニ乘車船券ノ各片ニ小兒「дѣтскiй」「*child*」ナル印章ヲ押捺スヘシ
（ハ）滿十歲ヲ超ユル小兒ニ對シテハ割引ヲ爲サス

二 滿五歲迄ノ小兒ニシテ萬國寢臺車會社ノ寢臺車ニ乘車シ特ニ寢臺ヲ使用セサルモノハ無賃トス若シ寢臺ヲ使用スルトキハ小兒用乘車船券冊子ヲ購入シ且ツ萬國寢臺車會社ニ對シ特別追加料金ノ半額ヲ仕拂フヘシ

優等車ヘノ乘換竝ニ普通列車ヨリ急行列車ヘノ乘換

第九條

旅客ハ劣等車ヨリ優等車ヘ乘換ヘ又ハ普通列車ヨリ急行列車ヘ乘換ヘントスルトキハ其ノ鐵道ノ規則ニ遵ヒ乘換驛ヨリ計算シ賃金ノ差額ヲ支拂フヘシ

乘車船券ノ檢查

第十條

一 旅客ハ乘行中常ニ乘車船券冊子ヲ携帶シ車掌若クハ列車又ハ汽船ニ於ケル檢查ノ職務ヲ有スル係員ノ請求アルトキハ之ヲ呈示スヘキモノトス乘車船券冊子ニ編綴シタル各券ハ各相當ノ區間ニ於テ列車又ハ汽船ノ係員之ヲ截リ取ルヘキモノトス旅客ハ乘車船券冊子ヨリ各券ヲ自ヲ截リ取ルノ權利ナキモノトス

二 乘車船券冊子ヨリ截リ取リタル乘車船券ヲ提出セル場合ニハ之ヲ無效ノモノト看做シ收受ス但シ表紙及殘餘ノ乘車船券ヲ保有スル冊子ヲ提出セル場合ハ此ノ限ニ在ラス

三 旅客ハ乘車船券冊子檢查ノ際其ノ係員カ既ニ通過セル區間ニ對スル乘車船券ノミヲ截リ取ル樣注意スヘシ若シ列車又ハ汽船ノ檢查員カ未タ使用セサル乘車船券ヲ過テ截リ取リタルトキハ旅客ハ直ニ其ノ乘車船券ノ返付ヲ請求シ且ツ鐵道ニ在テハ最近驛ノ驛長、汽船ニ在テハ船長ニ其旨ヲ申告スヘシ

第二　手荷物運送

手荷物ノ定義

第十一條

一 手荷物トシテ託送シ得ル物品ハ旅客ノ自用品ニシテ鞄、櫃、旅行用嚢、帽子箱、箱等ヲ以テ荷造シタルモノニ限ル

二 其ノ他左記ノ物品ハ旅行用品トシテ手荷物ノ取扱ヲ爲シ規定重量迄ハ無賃トス
（イ）諸病者及不具者ノ携帶スル運動椅子及車附椅子竝ニ旅客ノ伴フ小兒用ノ車
（ロ）商館員カ携帶スル商品見本ニシテ共ノ荷造ノ狀態ニ由リ見本ナルコトヲ認メ得ル物
（ハ）箱入若クハ其ノ他ノ包裝ヲ有スル携帶樂器
（ニ）測量機械竝ニ職工用具
但シ此等ノ物品（（イ）乃至（ニ）記載）カ共ノ數量ニ由リ實際旅客ノ自用品ニシテ商品ニアラサルコトヲ認メ得ル場合ニ限ルモノトス

三 燃燒シ易キ物、爆發物、强力ナル酸類、流動物ヲ包有スル荷物、裝藥セル銃器及運送禁制品又ハ特別條件ニ由リ貨物トシテノミ運送スル物品ハ手荷物トシテ取扱ヲ爲サス

四 金塊、銀塊、白金塊、紙幣、貨幣、有價證券、證書類、寶石、眞珠其ノ他ノ高價品、美術品例ヘハ繪畫、美術的鑄物、骨董品等ハ手荷物トシテ取扱ヲ爲サス

手荷物ノ荷造

第十二條

鐵道又ハ汽船會社ハ不完全ナル荷造ヲ爲シタル手荷物ノ託送ヲ拒絕スルノ權利ヲ有ス手荷物ニ以前貼附シタル郵便若クハ鐵道ノ貼紙アルトキハ總テ之ヲ除去スヘシ

手荷物ノ託送

第十三條

一 （イ）手荷物ハ乘車船券冊子ノ呈示ニ依リ之ヲ受付ケ同冊子ノ表紙ニ記載シアル著驛宛發送スルモノトス
（ロ）手荷物ハ旅行ヲ中斷シ得ル中間驛ニシテ賃率表ニ手荷物運賃ノ定メアル驛宛トシテ共ノ託送ヲ受クルコトヲ得

二 普通賃金ヲ支拂ヒタル乘車船券冊子一冊毎ニ共ノ運送全距離ニ對シ手荷物二十五「キログラム」ヲ無賃ニテ運送シ割引セル小兒（滿五歲ヨリ滿十歲

第8287号 本文

迄)用乘車船券冊子ニ對シテハ手荷物十二「キログラム」ヲ無賃ニテ運送ス

右ニ規定シタル手荷物ノ無賃運送ハ一回限リ之ヲ受付クルモノトス

三　手荷物ノ運送ニ對シテハ其ノ重量五「キログラム」毎ニ賃率表ニ記載セル運賃ヲ申受ク運賃計算ノ際重量五「キログラム」未滿ノ端數ハ之ヲ五「キログラム」ニ切上ケ又運賃合計ニ於テ五錢又ハ五哥未滿ノ端數ハ之ヲ五錢又ハ五哥ニ切上クヘシ

四　手荷物ノ運賃ハ託送ノ際之ヲ支拂フヘシ

五　託送ヲ受ケタル手荷物ニ對シテハ手荷物證書ヲ發行ス手荷物證書ニハ手荷物ノ箇數、重量、運賃、發著驛名竝ニ乘車船券冊子ノ等級及番號ヲ記入スヘシ

旅客ハ手荷物證書ヲ受領スル際其ノ記載事項ニ付誤謬ノ有無ヲ注意スヘシ

六　手荷物證書發行ノ月日ハ日本國有鐵道、南滿洲鐵道及汽船ニ在リテハ新曆ヲ以テ之ヲ記入シ露國鐵道ニ在リテハ露曆ヲ以テ之ヲ記入ス

攜帶手荷物

第十四條

一　旅客ハ攜帶ニ便ニシテ網棚ニ又ハ腰掛ノ下ニ置キ若クハ鉤ニ懸ケ得ル小形ノ物品ヲ客車內ニ攜帶スルコトヲ得ルモノトス但シ他ノ旅客ノ妨ヲ爲サス且ツ稅關、收稅署若クハ警察ノ規則ニ違反セサル場合ニ限ル客車內ニ攜帶スル物品ニ對シテハ手荷物證書ヲ發行セス旅客ハ自ラ之ヲ保管スヘシ攜帶手荷物ハ旅客ノ占メタル座席ノ上下ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

稅金ヲ賦課セラルヘキ物品、運送禁制品、危險品(例ヘハ裝藥セル銃器、燃燒シ易キ物品、强力ナル酸類、流動物等)及其ノ發散スル臭氣若クハ其ノ他ノ性質ニ由リ他ノ旅客ニ不快ヲ與フル物品及總テノ動物(籠入ノ小鳥ヲ除ク)ハ之ヲ客車內ニ攜帶スルコトヲ得ス

二　露國鐵道及東淸鐵道ニ於テハ旅客一人ニ付三「フント」以內ノ火藥ヲ客車內ニ攜帶スルコトヲ得但シ「ブリキ」罐又ハ密閉セル金屬製火藥容器入ノモノニ限ル

露國鐵道及東淸鐵道ニ於テハ旅客ハ客車內ニ室內獸鳥類ヲ攜帶スルコトヲ得但シ其ノ都度驛長ノ承認ヲ得且ツ他ノ旅客ニ不快ヲ與ヘサル場合ニ限ル若シ同乘者中一人タリトモ請求スルモノアルトキハ此等獸鳥類ハ手荷物車ニ移載スヘシ室內獸鳥類ヲ客車內ニ攜帶スル場合ニハ特別賃率ニ據ル料金ヲ申受ケ旅客カ室內獸鳥類ヲ客車內ニ攜帶セル旨ヲ記入シタル領收書若クハ特別券ヲ發行ス日本國有鐵道及南滿洲鐵道ニ於テハ總テ獸鳥類ヲ客車內ニ攜帶スルコトヲ得ス

手荷物ノ引渡

第十五條

一　手荷物ハ手荷物證書記載ノ著驛ニ於テ同證書ト引換ニ之ヲ引渡スヘシ

二　手荷物引渡ノ場合鐵道ハ旅客ノ本人ナルヤ否ヤヲ取調フルノ義務ナク證書提出者ニ手荷物ヲ引渡シ其ノ引渡後ニ於テハ何等ノ責ニ任スルコトナシ旅客カ手荷物證書ヲ紛失セル場合ニ於テハ鐵道ハ旅客ヨリ請取書ヲ提出セシメ且ツ手荷物受領ノ權利アルコトニ付證明ヲ徵シ若シ疑アル場合ニハ確實ナル擔保ヲ徵シテ後手荷物ヲ引渡スヘシ

三　手荷物ハ其ノ指定著驛ニ於テ之ヲ引渡スモノトス旅客ノ希望ニ由リテハ時間ノ都合、稅關、收稅署規則其ノ他ノ事情ニ於テ差支ナキ限リ中間驛ニ於テモ之ヲ引渡スコトヲ得此ノ場合旅客ハ乘車船券冊子ヲ呈示シ手荷物證書ヲ返付スヘシ但シ運賃差額ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

四　露國鐵道及東淸鐵道ノ中間驛ニ於テ手荷物ヲ引渡ストキハ當該驛長ハ其ノ手荷物證書ニ「何驛止メ」ナル印章ヲ押捺スヘシ若シ手荷物全部ヲ引渡ス場合ニハ手荷物證書ハ同驛ニ於テ之ヲ受領シ旅客ニ對シテハ其ノ手荷物證書ヲ受領セルコトニ付特別ノ書付ヲ交付ス手荷物ノ一部ヲ引渡ス場合ニハ其ノ引渡シタル箇數竝ニ其ノ重量ヲ手荷物證書ニ記入シ之ヲ旅客ニ返付スヘシ

旅客カ一度受取リタル手荷物ヲ再ヒ託送セントスルトキハ手荷物證書若クハ手荷物證書ト引換ニ驛長ヨリ受取リタル書付ヲ手荷物取扱所ニ提出スヘシ手荷物取扱所ハ手荷物證書(曩ニ受取リ置キタル若クハ旅客ノ提出スル)ニ押捺シアル「何驛止メ」ナル印章ノ下ニ發送ノ列車番號竝ニ其ノ月日ヲ記入セル印章ヲ押捺シ之ヲ旅客ニ返付スヘシ

再度託送ノ手荷物カ最初託送ノ場合ニ比シ其ノ重量ニ增減アルトキハ新ニ手荷物證書ヲ發行シ其ノ證書面ニ更ニ發行シタルモノナルコトヲ記入スヘシ此場合ニ於テ手荷物ノ重量カ增加シアルトキハ追加料金ヲ申受クヘシ

手荷物ノ保管

第十六條

到著鐵道ノ規定スル期限內ニ於テ旅客カ其ノ手荷物ヲ引取ラサルトキハ手荷物保管料ヲ申受クヘシ

手荷物ノ價格竝ニ其ノ引渡期限ノ保障

第十七條

手荷物ニハ其ノ價格竝ニ引渡期限ノ保障ヲ附セス

手荷物運送ニ關スル鐵道ノ責任

第十八條

一　手荷物ノ託送ヲ受ケタル鐵道ハ著驛ニ於テ之ヲ旅客ニ引渡ス時迄其ノ運送ニ付責任ヲ負フモノトス本規則第十一條ニ於テ禁止セル物品ヲ手荷物トシテ託送シタル場合ニハ鐵道ハ之ニ對シ何等ノ責ニ任セス

二　手荷物通知書ト共ニ手荷物運送ノ引繼ヲ受ケタル鐵道ハ其ノ引繼ト共ニ運送契約ノ當事者トナリ該契約ノ條項ニ依リ運送ヲ爲スヘキモノトス

三　運送契約ヨリ生スル請求權ハ鐵道相互間求償ノ場合ヲ除キ最初運送ヲ引受ケタル鐵道、最後ニ手荷物ヲ受取ル鐵道又ハ其

ノ所屬線路內ニ於テ損害カ發生セル鐵道ニ對シテノミ訴訟ニ由リ之ヲ主張スルコトヲ得請求者ハ前記鐵道ノ一ヲ選擇スルコトヲ得

四　訴訟ハ被告タルヘキ鐵道本社所在國ノ裁判所ニシテ其ノ國ノ法律ニ依リ管轄權ヲ有スルモノニ之ヲ提起スルヲ要ス本條第三項ニ規定スル選擇權ハ訴訟ノ提起ニ依リ消滅ス

本條第三項及第四項ノ規定ニ關シテハ請求者ハ日本帝國內ニ於テハ日本商法及鐵道營業ニ關スル法令ノ規定ニ據ルモノトス

五　(イ)以上記載ノ諸規定ニ基キ手荷物ノ全部若クハ一部ノ喪失ニ對シ鐵道カ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘキトキハ南滿洲鐵道ハ左ニ記載スル一定ノ價格ニ依リ損害ノ賠償ヲ爲スモノトス

一等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　七　圓

二等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　參圓五拾錢

三等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　貳　圓

(ロ)露國鐵道及東淸鐵道ハ左ニ記載スル一定ノ價格ニ依リ損害ノ賠償ヲ爲スモノトス

一等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　七留參拾哥

二等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　四留八拾八哥

三等旅客手荷物　一「キログラム」ニ付　貳留四拾四哥

(ハ)日本國有鐵道ニ於テハ手荷物ノ喪失ニ付テハ旅客一人ニ對シ乘車船券ノ等級ニ拘ラス價格百圓以內ニ限リ其ノ賠償ヲ爲スモノトス

六　手荷物毀損ノ場合ニ於テハ鐵道ハ其ノ手荷物價格ノ減少額ニ應シ賠償ヲ爲スモノトス但シ其ノ賠償額ハ本條ニ規定シタル手荷物全部若クハ一部ノ喪失ニ對スル賠償金ノ最高限度ヲ超過セサルモノトス

七　或理由ニ由リ手荷物ノ引渡ヲ受ケサル旅客ハ其ノ手荷物證書ヲ呈示シ之ニ引渡ヲ請求シタル月日及時刻ノ記入ヲ請求スルコトヲ得

八　旅客カ著驛ニ於テ手荷物ヲ引取ラサルトキハ到著鐵道ハ其ノ鐵道ニ施行スル規則ニ基キ之ヲ處分スルモノトス

紛失手荷物

第十九條

一　手荷物ヲ搭載スヘキ列車又ハ汽船カ到著地ニ到著セル後十日ヲ經過スルモ尙ホ到著セサル手荷物ハ之ヲ紛失セルモノト看做ス

二　紛失手荷物ヲ發見シタルトキハ其ノ所有者ノ宿所分明シ居ラハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

此ノ場合ニ於テ旅客ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ鐵道ニ對シ發見手荷物ヲ發驛若クハ著驛迄無賃ニテ運送センコトヲ請求シ得ルモノトス手荷物ノ紛失ニ對シ受領シタル損害賠償金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

紛失手荷物カ發見セラレタル場合ニ之ヲ受領セントスル旅客ハ豫メ自己ノ宿所ヲ指定シテ其ノ旨ヲ屆置クヘシ

手荷物ノ稅關檢査

第二十條

旅客ハ其ノ所有手荷物ノ稅關檢査ニ必ス自身立會フ義務アルモノトス鐵道ハ旅客カ本規則ヲ遵守セサルヨリ生スル結果ニ對シ其ノ責ニ任セス且ツ旅客カ其ノ手荷物ノ稅關檢査ニ立會ハサリシ爲メ手荷物留置等ノ結果ヲ生シタル場合何等故障ノ申立ヲ受理セサルモノトス

稅關檢査地ハ左ノ如シ

露國稅關　タンホイ驛、滿洲里驛、ポグラニーチナヤ驛、浦鹽斯德驛

淸國稅關　滿洲里驛、ポグラニーチナヤ驛、大連驛

日本稅關　敦賀港、門司港、神戸港、下ノ關港、長崎港

第二編　露國義勇艦隊及大阪商船株式會社船客運送規則

一　『各列車(急行及「エキスプレス」)ニ有效』ナル乘車船券ヲ所持スルモノハ一等船室ニ於ケル一寢臺ヲ使用スルコトヲ得

無賃ニテ運送スル滿五歲迄ノ小兒ハ特ニ座席ヲ使用スルコトヲ得ス半額切符ヲ以テ乘船スル滿五歲ヨリ滿十歲迄ノ小兒ハ二人ニテ一寢臺ヲ使用スルモノトス

二　普通列車ニ對シ有效ナル乘車船券ヲ所持スルモノハ船內ニ於テ之ニ相當スル座席ヲ使用スルコトヲ得

航海中ニ於ケル食料ハ一等及二等ノ乘車船券ニ限リ其ノ賃金中ニ含マルルモノトス

三　三等船客ハ大阪商船株式會社ノ汽船ニ限リ食事(日本食)ヲ受クルモノトス

四　船客ハ航海中汽船ノ規定セル時間ニ食堂ニ於テ一定ノ食事ヲ受クルモノトス

食料ヲ支拂ヒタル船客ニシテ船暈ノ爲メ食卓ニ就クコト能ハサルトキハ自室ニ於テ炙パン及ブリオン又ハパン及茶ヲ受クルコトヲ得船暈以外ノ疾病ニ罹レル船客ハ船長ノ意見ニ依リ自室ニ於テ食事ヲ受クルコトヲ得

五　檢疫若クハ衛生檢査ノ爲メ汽船碇泊中ニ於ケル食料ハ汽船ノ負擔スル限ニ在ラス

六　全額ヲ支拂ヒタル乘車船券ヲ所持スル者ハ賃率適用規則ニ規定セル重量ニ限リ手荷物ノ無賃運送ヲ受クルコトヲ得

七　船客ハ其ノ手荷物ヲ出帆五時間前ニ汽船代理店ニ提出スヘシ右時間經過後ニ於テハ自其ノ手荷物ヲ汽船ニ積込ムヘキモノトス

八　手荷物ノ紛失ニ對シテハ價格表記アルモノヲ除キ各汽船手荷物一箇ニ付二十留又ハ二十圓以內ノ賠償金ヲ支拂フモノトス

手荷物ノ毀損ニ對シテハ汽船ハ手荷物價格ノ減少額ニ應シ賠償ス但シ紛失ニ對スル賠償金ノ最高限度ヲ超ヘサルモノトス

手荷物紛失ノ場合ニ前記金額以上ノ賠償金ヲ得ントスルモノハ其ノ手荷物ニ價格表記ヲ附スヘシ

手荷物ノ價格表記料ハ表記金額百留毎ニ百分ノ一トス

第8287号 本文

日露聯絡旅客及手荷物運送運賃表

日本國有鐵道諸驛及日本諸港ヨリ露國各鐵道諸驛ニ至ル旅客及手荷物ノ運輸

浦鹽斯德經由

出發驛及到達驛	旅客運賃 急行列車 一等 大人	急行列車 一等 小兒	急行列車 二等 大人	急行列車 二等 小兒	普通列車 二等 大人	普通列車 二等 小兒	普通列車 三等 大人	普通列車 三等 小兒	手荷物運賃 運送限度三十五吉瓦ヲ超過スル毎五吉瓦ニ付
新橋ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九六・二〇	九四・〇五	一三六・四〇	六四・三五	八五・七〇	四一・二五	四七・一〇	二〇・〇五	二・一七
聖彼得堡 莫斯科經由	三三〇・五〇	一二七・六五	二二一・六五	八五・七〇	一三四・五五	五三・四五	七九・六五	二八・二〇	四・〇〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三二・三〇	一二五・六〇	二一五・二五	八四・〇五	一三〇・七五	五二・五〇	七七・一五	二七・三五	三・八八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四八・〇〇	一三二・〇五	二三四・一五	八八・八〇	一四二・一〇	五五・三五	八四・七〇	二九・四五	四・二三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三四〇・八五	一三〇・二五	二二八・三五	八七・三五	一三八・九五	五四・五五	八二・六〇	二八・九五	四・一三
リガ	三二九・六〇	一二七・四〇	二一九・五〇	八五・一五	一三六・四五	五三・九五	八〇・九〇	二八・五〇	四・〇六
莫斯科	三一七・〇〇	一二四・二五	二一一・九五	八三・二五	一二八・九〇	五二・〇五	七五・八五	二七・二五	三・八三
ワルシャワ	三四二・一〇	一三〇・五五	二二九・四五	八七・六五	一四〇・二〇	五四・九〇	八三・四五	二九・一五	四・一八
アレキサンドロウォ	三四七・〇五	一三一・八〇	二三二・二〇	八八・五五	一四二・一〇	五五・三五	八四・七〇	二九・四五	四・二三
グラニーツァ	三四八・六五	一三二・二〇	二三四・三五	八八・八五	一四二・七五	五五・五〇	八五・一〇	二九・五五	四・二五
キエフ	三二九・六〇	一二七・四〇	二一九・五〇	八五・一五	一三六・四五	五三・九五	八〇・九〇	二八・五〇	四・〇六
オデッサ	三四〇・〇五	一三〇・〇五	二二六・五五	八六・九〇	一四一・五〇	五五・二〇	八四・三五	二九・三五	四・二二
平沼ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九五・九〇	九三・九〇	一三六・二〇	六四・二五	八五・五五	四一・一五	四七・〇〇	二〇・〇〇	二・一七
聖彼得堡 莫斯科經由	三三〇・二〇	一二七・五〇	二二一・四五	八五・六〇	一三四・三五	五三・四〇	七九・五五	二八・一五	四・〇〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三二・〇〇	一二五・四五	二一五・〇五	八四・〇〇	一三〇・六〇	五二・四五	七七・〇〇	二七・三〇	三・八八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四七・七〇	一三一・九〇	二三三・九五	八八・七〇	一四一・九五	五五・三五	八四・五五	二九・四〇	四・二三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三四〇・五五	一三〇・一〇	二二八・二〇	八七・二五	一三八・八〇	五四・五〇	八二・四五	二八・九〇	四・一三
リガ	三二九・三〇	一二七・二五	二一九・三〇	八五・〇五	一三六・二五	五三・八五	八〇・八〇	二八・四五	四・〇六
莫斯科	三一六・七〇	一二四・一〇	二一一・七五	八三・一五	一二八・七〇	五一・九五	七五・七五	二七・二〇	三・八三
ワルシャワ	三四一・八〇	一三〇・四〇	二二九・二〇	八七・五五	一四〇・〇五	五四・八〇	八三・三〇	二九・一〇	四・一八
アレキサンドロウォ	三四六・七五	一三一・六五	二三三・〇〇	八八・五〇	一四一・九五	五五・二五	八四・五五	二九・四〇	四・二三
グラニーツァ	三四八・三五	一三二・〇五	二三四・一五	八八・七五	一四二・五五	五五・四〇	八五・〇〇	二九・五〇	四・二五
キエフ	三二九・三〇	一二七・二五	二一九・三〇	八五・〇五	一三六・二五	五三・八五	八〇・八〇	二八・四五	四・〇六
オデッサ	三三九・七五	一二九・九〇	二二六・四〇	八六・八〇	一四一・三〇	五五・一〇	八四・一五	二九・三〇	四・二二
京都ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九〇・一五	九一・〇〇	一三二・六五	六二・四五	八二・四〇	三九・五五	四四・九〇	一八・九五	二・〇二
聖彼得堡 莫斯科經由	三二四・四五	一二四・六五	二一七・九〇	八三・八〇	一三一・二五	五一・八〇	七七・四五	二七・一〇	三・八五
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三二六・二五	一二二・五五	二一一・五〇	八二・二〇	一二七・四五	五〇・八五	七四・九〇	二六・四五	三・七三
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四二・〇〇	一二九・〇〇	二三〇・四〇	八六・九五	一三八・八〇	五三・七〇	八二・三五	二八・三五	四・〇八
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三四・八五	一二七・二〇	二二四・六五	八五・五〇	一三五・六五	五二・九〇	八〇・四〇	二七・八五	三・九八
リガ	三二三・五五	一二四・四〇	二一五・七五	八三・三〇	一三三・一〇	五二・三〇	七八・七〇	二七・四〇	三・九一
莫斯科	三一〇・九五	一二一・二五	二〇八・二〇	八一・四〇	一二五・五五	五〇・四〇	七三・六五	二六・一五	三・六八
ワルシャワ	三三六・〇五	一二七・五五	二二五・七五	八五・七〇	一三六・九〇	五三・二〇	八一・二〇	二八・〇五	四・〇三
アレキサンドロウォ	三四一・〇五	一二八・八〇	二二九・四五	八六・七〇	一三八・八〇	五三・七〇	八二・三五	二八・三五	四・〇八
グラニーツァ	三四二・六〇	一二九・一五	二三〇・六〇	八七・〇〇	一三九・四〇	五三・八五	八二・九〇	二八・四五	四・一〇
キエフ	三二三・五五	一二四・四〇	二一五・七五	八三・三〇	一三三・一〇	五二・三〇	七八・七〇	二七・四〇	三・九一
オデッサ	三三四・〇〇	一二七・〇〇	二二二・八五	八五・〇五	一三八・一五	五三・五五	八二・〇五	二八・三五	四・〇六
大阪ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九一・〇〇	九一・四五	一三三・一五	六二・七五	八二・九〇	三九・八五	四五・二五	一九・一五	二・〇二
聖彼得堡 莫斯科經由	三二五・三〇	一二五・〇五	二一八・四五	八四・一〇	一三一・七五	五二・〇五	七七・八〇	二七・三五	三・八五
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三一七・一〇	一二三・〇〇	二一二・〇〇	八二・四五	一二七・九五	五一・一〇	七五・二五	二六・六五	三・七三
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四二・八五	一二九・四五	二三〇・九〇	八七・二〇	一三九・三〇	五三・九五	八二・八〇	二八・五〇	四・〇八
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三五・七〇	一二七・六五	二二五・一五	八五・七五	一三六・一五	五三・一五	八〇・七〇	二八・〇〇	三・九八
リガ	三二四・四〇	一二四・八五	二一六・三〇	八三・五五	一三三・六五	五二・五五	七九・〇五	二七・六〇	三・九一
莫斯科	三一一・八〇	一二一・七〇	二〇八・七〇	八一・六五	一二六・〇五	五〇・六五	七四・〇〇	二六・三〇	三・六八
ワルシャワ	三三六・九〇	一二七・九五	二二六・二五	八六・〇五	一三七・四〇	五三・五〇	八一・五五	二八・二〇	四・〇三
アレキサンドロウォ	三四一・九〇	一二九・二〇	二三〇・〇〇	八六・九五	一三九・三〇	五三・九五	八二・八〇	二八・五〇	四・〇八
グラニーツァ	三四三・四五	一二九・六〇	二三一・一五	八七・二五	一三九・九〇	五四・一〇	八三・二五	二八・六五	四・一〇
キエフ	三二四・四〇	一二四・八五	二一六・三〇	八三・五五	一三三・六五	五二・五五	七九・〇五	二七・六〇	三・九一
オデッサ	三三四・八五	一二七・四五	二二三・三五	八五・三〇	一三八・六五	五三・八〇	八二・四〇	二八・四〇	四・〇六
神戸ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九一・五〇	九一・七〇	一三三・四五	六二・九〇	八三・二〇	四〇・〇〇	四五・四五	一九・二五	二・〇二
聖彼得堡 莫斯科經由	三二五・八〇	一二五・三〇	二一八・七五	八四・二五	一三二・〇五	五二・一〇	七八・〇〇	二七・三五	三・八五
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三一七・六〇	一二三・二五	二一二・三〇	八二・六〇	一二八・二五	五一・二五	七五・四五	二六・七五	三・七三
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四三・三五	一二九・七〇	二三一・二〇	八七・三五	一三九・六〇	五四・一〇	八三・〇〇	二八・六〇	四・〇八
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三六・二〇	一二七・九〇	二二五・四五	八五・九〇	一三六・四五	五三・三〇	八〇・九〇	二八・一〇	三・九八
リガ	三二四・九〇	一二五・一〇	二一六・六〇	八三・七〇	一三三・九五	五二・七〇	七九・二五	二七・七〇	三・九一
莫斯科	三一二・三〇	一二一・九五	二〇九・〇〇	八一・八〇	一二六・三五	五〇・八〇	七四・二〇	二六・四〇	三・六八
ワルシャワ	三三七・四〇	一二八・二〇	二二六・五五	八六・二〇	一三七・七〇	五三・六五	八一・七五	二八・三〇	四・〇三
アレキサンドロウォ	三四二・四〇	一二九・四五	二三〇・三〇	八七・一〇	一三九・六〇	五四・一〇	八三・〇〇	二八・六〇	四・〇八
グラニーツァ	三四三・九五	一二九・八五	二三一・四五	八七・四〇	一四〇・二五	五四・二五	八三・四五	二八・七五	四・一〇
キエフ	三二四・九〇	一二五・一〇	二一六・六〇	八三・七〇	一三三・九五	五二・七〇	七九・二五	二七・七〇	三・九一
オデッサ	三三五・三五	一二七・七〇	二二三・六五	八五・四五	一三八・九五	五三・九五	八二・六〇	二八・五〇	四・〇六
下關（門司）ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九八・六〇	九五・二五	一三七・八五	六五・〇五	八七・一五	四一・九五	四八・〇五	二〇・五五	二・一二
聖彼得堡 莫斯科經由	三三二・九〇	一二八・八五	二二三・一〇	八六・四〇	一三六・〇〇	五四・二〇	八〇・六〇	二八・七〇	四・〇五
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三二四・七〇	一二六・八〇	二一六・七〇	八四・八〇	一三二・二〇	五三・二五	七八・一〇	二八・〇五	三・九三

出發驛及到達驛	旅客運賃 急行列車 一等 大人	急行列車 一等 小兒	急行列車 二等 大人	急行列車 二等 小兒	普通列車 二等 大人	普通列車 二等 小兒	普通列車 三等 大人	普通列車 三等 小兒	手荷物運賃 運送限度三十五吉瓦ヲ超過スル毎五吉瓦ニ付
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三五〇・四五	一三三・二五	二三五・六〇	八九・五五	一四三・五五	五六・一〇	八五・六五	二九・九五	四・二八
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三四三・三〇	一三一・四五	二二九・八〇	八八・一〇	一四〇・四〇	五五・三〇	八三・五五	二九・四〇	四・一八
リガ	三三二・〇〇	一二八・六五	二二〇・九五	八五・八五	一三七・九〇	五四・六五	八一・九〇	二九・〇〇	四・一一
莫斯科	三一九・四〇	一二五・四〇	二一三・四〇	八四・〇〇	一三〇・三五	五二・八〇	七六・八五	二七・七五	三・八八
ワルシャワ	三四四・五〇	一三一・七五	二三〇・九〇	八八・三五	一四一・六五	五五・六〇	八四・四〇	二九・六五	四・二三
アレキサンドロウォ	三四九・五〇	一三三・〇〇	二三四・六五	八九・三〇	一四三・五五	五六・一〇	八五・六五	二九・九五	四・二八
グラニーツァ	三五一・〇五	一三三・四〇	二三五・八〇	八九・六〇	一四四・二〇	五六・二五	八六・一〇	三〇・〇五	四・三〇
キエフ	三三二・〇〇	一二八・六五	二二〇・九五	八五・八五	一三七・九〇	五四・六五	八一・九〇	二九・〇〇	四・一一
オデッサ	三四二・四五	一三一・二五	二二八・〇〇	八七・六五	一四二・九五	五五・九五	八五・三五	二九・八五	四・二六
敦賀ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一八六・二五	八九・〇五	一三〇・三〇	六一・三〇	八〇・六五	三八・七〇	四三・七五	一八・四〇	一・八七
聖彼得堡 莫斯科經由	三二〇・五五	一二二・七〇	二一五・六〇	八二・六五	一二九・五〇	五〇・九五	七六・三〇	二六・五〇	三・七〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三二二・三五	一二〇・六〇	二〇九・一五	八一・〇五	一一五・七〇	五〇・〇〇	七三・七五	二五・九〇	三・五八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三三八・一〇	一二七・〇五	二二八・〇五	八五・八〇	一三七・〇五	五二・八五	八一・三〇	二七・七五	三・九三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三〇・九五	一二五・二五	二二二・三〇	八四・三五	一三三・九〇	五二・〇五	七九・二〇	二七・二五	三・八三
リガ	三一九・六五	一二二・四五	二一三・四五	八二・一〇	一三一・四〇	五一・四〇	七七・五五	二六・八五	三・七六
莫斯科	三〇七・〇五	一一九・三〇	二〇五・八五	八〇・二〇	一二三・八〇	四九・五〇	七二・五〇	二五・五五	三・五三
ワルシャワ	三三二・一五	一二五・六〇	二二三・四〇	八四・六〇	一三五・一五	五二・三五	八〇・〇五	二七・四五	三・八八
アレキサンドロウォ	三三七・一五	一二六・八五	二二七・一五	八五・五五	一三七・〇五	五二・八五	八一・三〇	二七・七五	三・九三
グラニーツァ	三三八・七〇	一二七・二〇	二二八・三〇	八五・八五	一三七・七〇	五三・〇〇	八一・七五	二七・九〇	三・九五
キエフ	三一九・六五	一二二・四五	二一三・四五	八二・一〇	一三一・四〇	五一・四〇	七七・五五	二六・八五	三・七六
オデッサ	三三〇・一〇	一二五・〇五	二二〇・五〇	八三・九〇	一三六・四〇	五二・六五	八〇・九〇	二七・六五	三・九一

寢臺ヲ使用スル場合ニハ本表賃金ノ外別ニ料金ヲ仕拂フコトヲ要ス
ウェルジボローウォ、リガ、アレキサンドロウォ、グラニーツァ、キエフノ各驛行乘車船券冊子ハ當分ノ內發賣セス

大連經由

出發驛及到達驛	旅客運賃 急行列車 一等 大人	急行列車 一等 小兒	急行列車 二等 大人	急行列車 二等 小兒	普通列車 二等 大人	普通列車 二等 小兒	普通列車 三等 大人	普通列車 三等 小兒	手荷物運賃 運送限度三十五吉瓦ヲ超過スル毎五吉瓦ニ付
新橋ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	二〇〇・一五	九七・〇五	一四九・四〇	七一・七五	八七・三五	四二・四〇	五三・〇〇	二三・八〇	二・三七
聖彼得堡 莫斯科經由	三三四・四五	一三〇・六五	二三四・六五	九三・二〇	一三六・一五	五四・六五	八五・五五	三一・九五	四・一〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三六・三五	一二八・六〇	二二八・二五	九一・四五	一三二・四〇	五三・七〇	八三・〇五	三一・三〇	三・九八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三五二・〇〇	一三五・〇五	二四七・一五	九六・二〇	一四三・七五	五六・五五	九〇・六〇	三三・二〇	四・三三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三四四・八五	一三三・二五	二四一・四〇	九四・七五	一四〇・六〇	五五・七五	八八・五〇	三二・七〇	四・二三
リガ	三三三・五五	一三〇・四五	二三二・五〇	九二・五五	一三八・〇五	五五・一五	八六・八〇	三二・二五	四・一六
莫斯科	三二〇・九五	一二七・三〇	二二四・九五	九〇・六五	一三〇・五〇	五三・二五	八一・七五	三一・〇〇	三・九三
ワルシャワ	三四六・〇五	一三三・五五	二四二・五〇	九五・〇五	一四一・八五	五六・〇五	八九・三五	三二・九〇	四・二八
アレキサンドロウォ	三五一・〇五	一三四・八〇	二四六・二〇	九五・九五	一四三・七五	五六・五五	九〇・六〇	三三・二〇	四・三三
グラニーツァ	三五二・六〇	一三五・二〇	二四七・三五	九六・二五	一四四・三五	五六・七〇	九一・〇〇	三三・三〇	四・三五
キエフ	三三三・五五	一三〇・四五	二三二・五〇	九二・五五	一三八・〇五	五五・一五	八六・八〇	三二・二五	四・一六
オデッサ	三四四・〇〇	一三三・〇五	二三九・六〇	九四・三〇	一四三・一〇	五六・四〇	九〇・一五	三三・一〇	四・三一
平沼ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九九・八五	九六・九〇	一四九・二〇	七一・六五	八七・一五	四二・三五	五二・九〇	二三・七五	二・三七
聖彼得堡 莫斯科經由	三三四・一五	一三〇・五〇	二三四・五〇	九三・〇〇	一三六・〇〇	五四・五五	八五・四五	三一・九〇	四・一〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三五・九五	一二八・四五	二二八・〇五	九一・四〇	一三二・二〇	五三・六〇	八二・九〇	三一・二五	三・九八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三五一・七〇	一三四・九〇	二四六・九五	九六・一〇	一四三・五五	五六・四五	九〇・四五	三三・一五	四・三三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三四四・五五	一三三・一〇	二四一・二〇	九四・六五	一四〇・四〇	五五・六五	八八・三五	三二・六五	四・二三
リガ	三三三・二五	一三〇・三〇	二三二・三五	九二・四五	一三七・九〇	五五・〇五	八六・七〇	三二・二〇	四・一六
莫斯科	三二〇・六五	一二七・一五	二二四・七五	九〇・五五	一三〇・三〇	五三・一五	八一・六五	三〇・九五	三・九三
ワルシャワ	三四五・七五	一三三・四〇	二四二・三〇	九四・九五	一四一・六五	五六・〇〇	八九・二〇	三二・八五	四・二八
アレキサンドロウォ	三五〇・七五	一三四・六五	二四六・〇五	九五・九〇	一四三・五五	五六・四五	九〇・四五	三三・一五	四・三三
グラニーツァ	三五二・三〇	一三五・〇五	二四七・二〇	九六・一五	一四四・二〇	五六・六〇	九〇・九〇	三三・二五	四・三五
キエフ	三三三・二五	一三〇・三〇	二三二・三五	九二・四五	一三七・九〇	五五・〇五	八六・七〇	三二・二〇	四・一六
オデッサ	三四三・七〇	一三二・九〇	二三九・四〇	九四・二〇	一四二・九〇	五六・三〇	九〇・〇五	三三・〇五	四・三一
京都ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九四・四〇	九四・二〇	一四五・九五	七〇・〇〇	八三・九〇	四〇・七〇	五〇・七〇	二二・六五	二・一七
聖彼得堡 莫斯科經由	三二八・七〇	一二七・八〇	二三一・二〇	九一・三五	一三二・七〇	五二・九五	八三・二五	三〇・八〇	四・〇〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三〇・五〇	一二五・七五	二二四・八〇	八九・七五	一二八・九五	五二・〇〇	八〇・七五	三〇・一五	三・八八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四六・二五	一三二・二〇	二四三・七〇	九四・五〇	一四〇・三〇	五四・八〇	八八・三〇	三二・〇五	四・二三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三九・一〇	一三〇・四〇	二三七・九五	九三・〇五	一三七・一五	五四・〇五	八六・二〇	三一・五五	四・一三
リガ	三二七・八〇	一二七・五五	二二九・〇五	九〇・八〇	一三四・六〇	五三・四〇	八四・五〇	三一・一〇	四・〇六
莫斯科	三一五・二〇	一二四・四〇	二二一・五〇	八八・九〇	一二七・〇五	五一・五〇	七九・四五	二九・八五	三・八三
ワルシャワ	三四〇・三〇	一三〇・七〇	二三九・〇五	九三・三〇	一三八・四〇	五四・三五	八七・〇五	三一・七五	四・一八
アレキサンドロウォ	三四五・三〇	一三一・九五	二四二・七五	九四・二五	一四〇・三〇	五四・八〇	八八・三〇	三二・〇五	四・二三
グラニーツァ	三四六・八五	一三二・三五	二四三・九〇	九四・五五	一四〇・九〇	五四・九五	八八・七〇	三二・一五	四・二五
キエフ	三二七・八〇	一二七・五五	二二九・〇五	九〇・八〇	一三四・六〇	五三・四〇	八四・五〇	三一・一〇	四・〇六
オデッサ	三三八・二五	一三〇・一五	二三六・一五	九二・六〇	一三九・六五	五四・六五	八七・八五	三一・九五	四・二二
大阪ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九三・九五	九三・九五	一四五・七〇	六九・八五	八三・六〇	四〇・五五	五〇・五〇	二二・六〇	二・一七
聖彼得堡 莫斯科經由	三二八・二五	一二七・五五	二三〇・九五	九一・二〇	一三二・四五	五二・八〇	八三・〇五	三〇・七〇	四・〇〇
聖彼得堡 ウャーツカ經由	三三〇・〇五	一二五・五〇	二二四・五五	八九・六〇	一二八・六五	五一・八五	八〇・五五	三〇・一〇	三・八八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四五・八〇	一三一・九五	二四三・四五	九四・三五	一四〇・〇〇	五四・七〇	八八・一〇	三一・九五	四・二三
ウェルジボローウォ ウャーツカ經由	三三八・六五	一三〇・一五	二三七・六五	九二・九〇	一三六・八五	五三・九〇	八六・〇〇	三一・四五	四・一三
リガ	三二七・三五	一二七・三五	二二八・八〇	九〇・七〇	一三四・三五	五三・二五	八四・三五	三一・〇五	四・〇六
莫斯科	三一四・七五	一二四・二〇	二二一・二五	八八・八〇	一二六・八〇	五一・四〇	七九・三〇	二九・七五	三・八三
ワルシャワ	三三九・八五	一三〇・四五	二三八・七五	九三・一五	一三八・一〇	五四・二〇	八六・八五	三一・六五	四・一八

第8287号 本文

第8287号 本文

アレキサンドロウォ	三四四・八五	一三一・七〇	二四二・五〇	九四・一〇	一四〇・〇〇	五四・七〇	八八・一〇	三一・九五	四・二三
グラニーツァ	三四六・四〇	一三二・一〇	二四三・六五	九四・四〇	一四〇・六五	五四・八五	八八・五五	三二・一〇	四・二五
キエフ	三二七・三五	一二七・三五	二二八・八〇	九〇・七〇	一三四・三五	五三・二五	八四・三五	三一・〇五	四・〇六
オデッサ	三三七・八〇	一二九・九五	二三五・八五	九二・四五	一三九・四〇	五四・五五	八七・七〇	三一・八五	四・二一
神戸ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一九三・六〇	九三・七五	一四五・四五	六九・七五	八三・四〇	四〇・四五	五〇・三五	二一・五〇	二・一七
聖彼得堡 莫斯科經由	三二七・九〇	一二七・三五	二三〇・七〇	九一・一〇	一三一・二〇	五二・七〇	八二・九〇	三〇・六五	四・〇〇
ウヤーツカ經由	三一九・七〇	一二五・二〇	二二四・三〇	八九・五〇	一二八・四五	五一・七五	八〇・四〇	三〇・〇〇	三・八八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四五・四〇	一三一・七五	二四三・二〇	九四・二五	一三九・八〇	五四・五五	八七・九五	三一・九〇	四・二三
ウヤーツカ經由	三三八・二五	一二九・九五	二三七・四五	九二・八〇	一三六・六五	五三・八〇	八五・八五	三一・三五	四・一三
リガ	三三七・〇〇	一二七・一五	二二八・五五	九〇・五五	一三四・一〇	五三・一五	八四・二〇	三〇・九五	四・〇六
莫斯科	三一四・四〇	一二四・〇〇	二二一・〇〇	八八・六五	一二六・五五	五一・二五	七九・一五	二九・七〇	三・八三
ワルシヤワ	三三九・五〇	一三〇・二五	二三八・五五	九三・〇五	一三七・九〇	五四・一〇	八六・七〇	三一・六〇	四・一八
アレキサンドロウォ	三四四・四五	一三一・五〇	二四二・二五	九四・〇〇	一三九・八〇	五四・七〇	八七・九五	三一・九〇	四・二三
グラニーツァ	三四六・〇五	一三一・九〇	二四三・四〇	九四・三〇	一四〇・四〇	五四・五五	八八・四〇	三二・〇〇	四・二五
キエフ	三二七・〇〇	一二七・一五	二二八・五五	九〇・五五	一三四・一〇	五三・二五	八四・二〇	三〇・九五	四・〇六
オデッサ	三三七・四五	一二九・七五	二三五・六五	九二・二五	一三九・一五	五四・四〇	八七・五五	三一・八〇	四・二一
長崎ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一八八・七〇	九一・二〇	一四二・四〇	六八・二五	八一・三五	三九・四〇	四九・〇〇	二一・八〇	二・〇七
聖彼得堡 莫斯科經由	三二三・〇〇	一二四・九〇	二二七・六五	八九・六〇	一三〇・二〇	五一・六五	八一・五五	二九・九五	三・九〇
ウヤーツカ經由	三一四・八〇	一二二・八五	二二一・二五	八七・九五	一二六・四〇	五〇・七〇	七九・〇五	二九・二〇	三・七八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三四〇・五〇	一二九・三〇	二四〇・一五	九二・七〇	一三七・七五	五三・五五	八六・六〇	三一・二〇	四・一三
ウヤーツカ經由	三三三・三五	一二七・五〇	二三四・四〇	九一・〇五	一三四・六〇	五二・七五	八四・五〇	三〇・七〇	四・〇三
リガ	三三二・一〇	一二四・七〇	二二五・五〇	八九・〇五	一三二・〇五	五二・一五	八二・八〇	三〇・二五	三・九六
莫斯科	三〇九・五〇	一二一・五五	二一七・九五	八七・一五	一二四・五〇	五〇・二五	七七・八〇	二九・〇〇	三・七三
ワルシヤワ	三三四・六〇	一二七・八〇	二三五・五〇	九一・五五	一三五・八五	五三・〇五	八五・三五	三〇・九〇	四・〇八
アレキサンドロウォ	三三九・五五	一二九・〇五	二三九・二〇	九二・四五	一三七・七五	五三・五五	八六・六〇	三一・二〇	四・一三
グラニーツァ	三四一・一五	一二九・四五	二四〇・三五	九二・七五	一三八・三五	五三・七〇	八七・〇〇	三一・三〇	四・一五
キエフ	三二二・一〇	一二四・七〇	二二五・五〇	八九・〇五	一三二・〇五	五二・一五	八二・八〇	三〇・二五	三・九六
オデッサ	三三二・五五	一二七・二〇	二三二・六〇	九〇・八〇	一三七・一〇	五三・四〇	八六・二〇	三一・一〇	四・一一
門司(下關)ヨリ左記ニ至ル									
イルクーツク	一八三・四〇	八八・六五	一三九・二五	六六・六五	七八・一五	三七・八五	四六・九〇	二〇・七五	一・八七
聖彼得堡 莫斯科經由	三一七・七〇	一二二・二五	二二四・五〇	八八・〇〇	一二七・〇〇	五〇・〇五	七九・四五	二八・九〇	三・七〇
ウヤーツカ經由	三〇九・五〇	一二〇・二〇	二一八・一〇	八六・四〇	一二三・二〇	四九・一〇	七六・九〇	二八・二五	三・五八
ウェルジボローウォ 莫斯科經由	三三五・二〇	一二六・六五	二三七・〇〇	九一・一〇	一三四・五五	五一・九五	八四・五〇	三〇・一五	三・九三
ウヤーツカ經由	三二八・〇五	一二四・八五	二三一・一〇	八九・六五	一三一・四〇	五一・一五	八二・四〇	二九・六五	三・八三
リガ	三二六・八〇	一二二・〇五	二二二・三五	八七・四五	一二八・九〇	五〇・五五	八〇・七〇	二九・二〇	三・七六
莫斯科	三〇四・二〇	一一八・九〇	二一四・八〇	八五・五五	一二一・三五	四八・六五	七五・六五	二七・九五	三・五三
ワルシヤワ	三二九・三〇	一二五・一五	二三二・二〇	八九・九五	一三二・六五	五一・五〇	八三・二〇	二九・八五	三・八八
アレキサンドロウォ	三三四・二五	一二六・四〇	二三六・〇五	九〇・九〇	一三四・五五	五一・九五	八四・五〇	三〇・一五	三・九三
グラニーツァ	三三五・八五	一二六・八〇	二三七・二〇	九一・一五	一三五・二〇	五二・一〇	八四・九〇	三〇・二五	三・九五
キエフ	三一六・八〇	一二二・〇五	二二二・三五	八七・四五	一二八・九〇	五〇・五五	八〇・七〇	二九・二〇	三・七六
オデッサ	三二七・二五	一二四・六五	二二九・四〇	八九・二〇	一三三・九五	五一・八〇	八四・〇五	三〇・〇五	三・九一

寢臺ヲ使用スル場合ニハ本表賃金ノ外別ニ料金ヲ仕拂フコトヲ要ス

ウェルジボローウォ、リガ、アレキサンドロウォ、グラニーツァ、キエフノ各驛行乘車船券册子ハ當分ノ内發賣セス

運輸經路

日本國有鐵道諸驛及日本諸港ヨリ露國各鐵道諸驛ニ至ル旅客及手荷物ノ運輸經路

一 浦鹽斯德經由

新橋平沼京都大阪神戸下關(門司)敦賀ノ諸驛港ヨリ左記諸驛ニ至ル場合

到達驛	經由主要驛
イルクーツク	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里
聖彼得堡	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科(莫斯科經由)又ハ 敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝エカテリンブルグ＝ウヤーツカ＝ウォローグダ(ウヤーツカ經由)
ウェルジボローウォ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝聖彼得堡(莫斯科經由)又ハ 敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝エカテリンブルグ＝ウヤーツカ＝ウォローグダ＝聖彼得堡(ウヤーツカ經由)
リガ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝レジツア＝クレイツブルグ
莫斯科	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ
ワルシヤワ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト
アレキサンドロウォ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト＝ワルシヤワ
グラニーツァ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト＝ワルシヤワ
キエフ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブリヤンスク＝ナウリヤ
オデッサ	敦賀＝浦鹽斯德＝ポグラニーチナヤ＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブリヤンスク＝ナウリヤ＝キエフ

備考 敦賀浦鹽斯德間汽船

二 大連經由

新橋平沼京都大阪神戸長崎門司(下關)ノ諸驛港ヨリ左記諸驛ニ至ル場合

到達驛	經由主要驛
イルクーツク	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里
聖彼得堡	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科(莫斯科經由)又ハ 門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝エカテリンブルグ＝ウヤーツカ＝ウォローグダ(ウヤーツカ經由)
ウェルジボローウォ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝聖彼得堡(莫斯科經由)又ハ 門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝エカテリンブルグ＝ウヤーツカ＝ウォローグダ＝聖彼得堡(ウヤーツカ經由)
リガ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝レジツア＝クレイツブルグ
莫斯科	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ
ワルシヤワ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト
アレキサンドロウォ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト＝ワルシヤワ
グラニーツァ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブレスト＝ワルシヤワ
キエフ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブリヤンスク＝ナウリヤ
オデッサ	門司＝大連＝長春＝寛城子＝哈爾賓＝滿洲里＝イルクーツク＝チエリヤビンスク＝バトラキー＝ツーラ＝莫斯科＝ブリヤンスク＝ナウリヤ＝キエフ

備考 神戸門司間汽車又ハ汽船門司大連間汽船

内務省告示第十號

一 明治四十四年九星早見 一册 大阪市心齋橋南入 高嶋 梭 發行

一 明治四十四年九星早見 一册 大阪市高麗橋筋六番屋敷 木下藤雄 發行

右出版物ハ略本暦類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治四十四年二月八日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

陸軍省告示第三號

陸軍砲兵工科學校條例第二條ニ依ル砲兵工長候補者左ノ通召募ス志願者ハ陸軍召募規則第一章及第七章ノ規定ニ依リ願書其ノ他ノ書類ヲ差出スヘシ

明治四十四年二月八日 陸軍大臣 子爵寺内正毅

鞍工科 十四名　銃工科 四十名

木工科 十四名　鍛工科 十七名

農商務省告示第八十號

森林法ニ依リ左記箇所ノ開墾ヲ禁止ス

明治四十四年二月八日 農商務大臣 男爵大浦兼武

長野縣上伊那郡伊那里村大字杉嶋

字	地番	面積(町段畝歩)
浦田瀬頭	一三一	二
同	一三三	一一二
ウツキ坂	一四七	四〇〇
ウツキ坂下	一四八	三一〇
同	一四九	二〇〇
大除上	一五四二	三二二
ミヤコ	一六五	一八〇〇
ヒチ洞	一七九	七〇六
南平	二五七	二〇
坂ノ澤	三八一	六二〇
堂ノ澤	三八二	二〇〇
坂ノ澤	三八三イ	六一五
堂ノ浦	三八五	四二四
同	三八六	六一〇
堂ノ浦澤邊	三八七	一〇八
オノ神平	三八八	二
羽場下	三八九	四〇六
堂ノ浦	三九〇	一〇〇
同	三九一	六一二
同	三九三	一一八
同	三九四	一一八
オノ神マヽ下	三九五	一四
同	三九六	一四
堂ノ浦	三九七	二一〇
同	三九八	二二〇
久保畑	三九九	三二七
スゲジ	四〇〇	一〇〇
水ノ元	四〇一	一〇六
同	四〇二	一〇六
同	四〇三	二四
ウツキウラ	四〇五	一二
登立	四〇六	三二七
同	四〇七	九
同	四〇八	二七
同	四〇九	二二〇
大久保	四一〇	四二四
同	四一一	一〇
水ノ元	四一二	五
大久保	四一三	五
前大久保	四一四	二〇〇
大クボ	四一六	八
同	四一七	四
同	四一九	四二四
同	四二〇	二一八
同	四二一	二一八
三ツナギ	四二二	一〇八
同	四二三	一〇八
同	四二四	二二六
大久保	四二五	一〇〇
大久ボ	四二六	一八
登立日影	四二七	四〇〇
外大久保	四二八	一二〇
同	四二九	二一五
同	四三〇ロ	一〇七
同	四三二	一二〇
ヒクニ澤	四三三	九二〇
別當澤	四三四	一二四
同	四三五	一二四
同	四三六イ	八〇〇
同	同ノロ	一六〇〇
同	四三七	二二〇
同	四三八ノ一	二〇
上別當澤	四三九イ一	二一〇
同	同ロノ一	一一五
同	同ロノ二	四一八
同	四四〇	二〇七
同	四四一	二〇六
別當澤	四四二	四〇〇
同	四四三	八〇〇
同	四四四	四一一〇
コブツ澤	四四五	一三一〇
同	四四六	三一〇
コブツ澤日影	四四八	四〇〇
同	四四九	四〇〇
同	四五〇	四〇〇
同	四五一	七〇〇
同	四五二	一〇〇
同	四五三	三一〇
ウツギ上	四五七	八〇〇
同	四五八	六〇〇
同	四五九	四〇〇
同	四六〇	一五〇〇
同	四六一	一一〇〇
同	四六二	一二〇〇
ウツキ上	四六三	九〇〇
同	四六四	一一〇〇
同	四六五	一七〇〇
同	四六六	四〇〇
同	四六七	六〇〇
同	四六八	六〇〇
同	四六九	五二〇
南平上道下	四七五	九
南平林岸	四七七	六
羽場下	四七九	一五
コリトリバ	四八〇	二
同	四八一	三
ヒヅリ洞	四八二	二〇〇
南平横道下	四八三	一〇六
同	四八四	一〇六
同	四八五	二二〇
同	四八六	一八
南平久保	四八七	三〇〇
同	四八八	三〇〇
上ノ山道下	四八九	一二一〇
七兵衛屋敷	四九〇	一一六
同	四九一ノ一	三二四
同	四九二イノ一	一〇〇
大汀	四九三ノイ	二七
同	四九五一	三〇〇
同	四九八一	一一八
大ナギ道上	五〇三	五〇〇
同	五〇四一	三〇〇
上ナゴシウハタ道下	五〇九	一三
同	五一一	一一五
上ナシゴシウ畑道上	五一二一	九
上梨横道	五一五	一〇
上ノ梨ブドウ澤	五一七	八
同	五一八	七
同	五一九	五一〇
大汀カゲ	五二〇	二一〇
同	五二一	一〇五
同	五二二	一〇五
同	五二三	一二〇
前カゲ	五二四イ一	一二〇
同	五二五	三一〇
上ナシ清水	五二八	二一八
神ナシ平畑	五三三	一〇〇
神ナシ平畑上	五三五	一一八
同	五三六	五一〇
同	五三七	五一〇
ブトウ澤ツルネバタ	五三八	三〇〇
ブドウ澤ツルネ畑	五三九	二〇〇
ブドウ澤日向	五四〇	二〇
神シ平畑上	五四一	二六
神ナシ日向	五四三一	四二〇
同	同二	四〇〇
神ナシ平畑上	五四四	二〇〇
同	五四五	二〇〇
神ナシ澤カミ	五四六	一〇七
峯林マタウエ	五四七	三二〇
同	五四八	一一〇
同	五四九イ	三一〇
同	同ロ	一七〇〇
同	五五〇	一二〇
神ナシ林峯	五五一一	三〇〇
神ナシ日向	五五五	二九
同	五五六	二〇〇
神ナシ南垣外上	五五七	一二二
同	五五八	一七
同	五五九	一七
イトヲ上	五六一	一〇
伊東上	五六二	一三〇〇
同	五六三一	四〇〇
同	五六四	五二〇
田本上	五六五	二一〇
同	五六六	三〇〇
同	五六七	二〇〇
同	五六八	八〇〇
同	五六九	七〇〇
同	五七〇	一〇〇〇
同	五七一	一〇〇
向田上	八一六	三一〇
同	八一七イ	三一〇

鄕澤	八八一	五〇〇
尾尻上	八八三	三〇〇
同	八八四	三〇〇
同	八八五	一〇〇
同	八八六ノ一	六二〇
同	八八七	九〇〇
ヨセ	九二三	三一〇
萩澤上	九八九	一一五
同	九九〇	一一五
同	九九一	一一五
同	九九二	一〇
同	九九三	三一五
同	九九四	五〇〇
同	九九五	三〇〇
同	九九六	一一六
入萩澤日影	九九八	一〇六
入萩澤岩脇日向	九九九	一〇
同	一、〇〇〇	三一〇
同	一、〇〇一	三一〇
アンセイ	一、〇〇二	四二〇
鄕澤	一、〇〇三	五二〇
同	一、〇〇四	六〇四
同	一、〇〇六	三一五
同	一、〇〇七	三一五
鄕澤宮ノ木戸	一、〇〇八	三一〇
鄕澤入	一、〇〇九	八二〇
鄕澤日向	一、〇一〇	八〇〇
同	一、〇一一	四〇〇
鄕澤日影	一、〇一二	一四〇〇
同	一、〇一三	二〇〇
鄕澤	一、〇一四	九〇二
アンセイ	一、〇一五	二二四
同	一、〇一六ロ	一、一五〇二
入萩澤日向	一、〇一七	三〇一
同	一、〇一八	二一〇
林平	一、〇二〇	二二四
林平上	一、〇二一	二六
同	一、〇二二	一〇
スヽミ平	一、〇二四	五二〇
スタミ日影	一、〇二五イ	三〇〇
スタミ平	一、〇二六	一〇〇
入萩澤日向	一、〇二七	一三八
同	一、〇二八	一一四
同	一、〇二九	二一〇
同	一、〇三〇	一〇〇
同	一、〇三一	一一〇
入萩澤日影日向	一、〇三二	四二三
同	一、〇三三	一一〇
入萩澤日向	一、〇三四	三一〇
入萩澤日影	一、〇三五	一〇〇
同	一、〇三六	五
同	一、〇三七	一一八
同	一、〇三八	二〇〇
同	一、〇三九	二〇〇
同	一、〇四〇	一四
入萩澤日向	一、〇四一	二二〇
同	一、〇四二イ號	七〇〇
ミツマタ	一、〇四三	七〇〇
同	一、〇四四	四〇〇
同	一、〇四五ノ一	二〇〇
同	一、〇四六	七〇〇
同	一、〇四八	三〇〇
小池道北	一、〇四九	四一五
同	一、〇五〇	二五
同	一、〇五一	一〇
同	一、〇五二	二五
小池	一、〇五三ノ一	二〇〇
同	一、〇五四	二一五
中山	一、〇五六	六二〇
伐留	一、〇五七	二四
同	一、〇五八	二〇四
同	一、〇五九	一〇二
同	一、〇六〇	一〇二
同	一、〇六一	一三一〇
伊東澤入中山	一、〇六二	一五二六
中山	一、〇六三	六二〇
同	一、〇六四	六二〇
同	一、〇六五	三一〇
同	一、〇六六	三一〇
同	一、〇六七	三一〇
ソヨキツルネ	一、〇六八	三一〇
伊東澤日向	一、〇六九	三一〇
同	一、〇七〇	三一〇
同	一、〇七一	三一〇
同	一、〇七四	二一〇
同	一、〇七五	六〇〇
大樽日向	一、〇七六	一二〇〇
同	一、〇七七	一二〇〇
同	一、〇七八	一〇〇
伊東澤大擂日向道上	一、〇七九	二一二
同	一、〇八〇	三〇六
同	一、〇八一	二九
伊東澤大樽日向道下	一、〇八二	一〇八
大樽沓畑	一、〇八三	三一二
同	一、〇八四	三〇五
大樽沓畑下	一、〇八五	五
大樽沓畑上下	一、〇八六	三一三
伊東澤日向久保畑道上下	一、〇八七	三一七
伊東澤久保畑	一、〇九〇	一一二
伊東澤下林	一、〇九一ノイ	三一二
同	同 ノロ	四八〇〇
車屋上日向	一、一〇二	二〇〇
同	一、一〇三	二四
同	一、一〇四	一四
同	一、一〇五ノ一	七
同	同 ノ二	三
杉島上	一、一二一	七六〇〇
同	一、一二四	一一〇
同	一、一二五	一一二
同	一、一二六	一五
同	一、一二七	一五
同	一、一二八	八
同	一、一二九	一〇
同	一、一四〇	五
同	一、一四一	五
同	一、一四二	二〇
同	一、一四三	二〇
同	一、一四四	二〇
井口日影	一、一五四	一〇〇
井ノ口日影	一、一五五イ	一〇七
同	一、一五六イ	一二六
同	一、一五七ノ一	二二五
同	同 ノ二	二二五
同	一、一五八イ	五〇七
南亭平	一、三二一	二五
北亭平上	一、三二三	一一三
細見	一、三二四	二〇〇
同	一、三二五	一〇〇
同	一、三二六	一〇〇
同	一、三二七	一〇〇
北亭平上	一、三二八	一一三
同	一、三二九	二〇〇
細道上下	一、三三〇	六一三
亭平狐塚	一、三三一	二二
同	一、三三二	一五
同	一、三三三	五一五
同	一、三三四	一〇〇
伊東澤小樽日向道上下	一、三三五	二〇四
伊東澤小樽日影	一、三三六	一三
同	一、三三七	一二六
同	一、三三八	一二三
伊東澤日影道上	一、三三九	一〇〇
同	一、三四〇	二一〇
伊東澤日影道上下	一、三四一	四〇〇
大カメ日影	一、三四二	一三一〇
伊東澤大樽日影	一、三四三	一〇六
同	一、三四四	二八
同	一、三四五	二四
同	一、三四六	二八
同	一、三四七	二八
同	一、三四八	三三二
同	一、三四九	一〇〇
同	一、三五〇	一〇〇
伊東澤奥日影	一、三五一	二八
同	一、三五二	四一二
同	一、三五三	三一〇
同	一、三五四	三一〇
伊東澤入日影	一、三五五	六一六
同	一、三五六	二〇〇
同	一、三五七	一〇〇
同	一、三五八	二二〇
同	一、三五九	一一〇
ヲリバ	一、三六〇	八二七
ヲリハヒカケ	一、三六一	四一三
同	一、三六二	二二八
同	一、三六三	四一四
同	一、三六四	一一六
同	一、三六五	一一六
同	一、三六六	一一六
同	一、三六七	三〇二
同	一、三六八	一一六
同	一、三六九	六一八
同	一、三七〇	六一八
同	一、三七一	六一八
同	一、三七二	六一八
同	一、三七三	三〇九
同	一、三七四	三〇九
樽道下日向	一、三七六	一二六
同	一、三七七	三〇七
樽道下日向日影	一、三七八	九一〇
樽道下日向	一、三七九	二一〇
同	一、三八〇	二一〇
同	一、三八一	二九
ムキサワタルカマチヒナタ	一、三八二イ	一三一一
麥澤樽カマチ日向	同 イ	七五〇〇
麥澤細見	一、三八三	二二一
同	一、三八四	二七
細見日向	一、三八五	四一〇
ムギ澤樽元日向	一、三八六	四二〇
同	一、三八七	五一八
同	一、三八八	二一〇
ムキ澤日向	一、三八九	五〇〇
同	一、三九〇	一〇〇
同	一、三九一	一一
同	一、三九二	一二
同	一、三九三	四〇〇
同	一、三九四	一〇
ムギサワハヒナタ	一、三九六	二一五
芋掘	一、三九八	六
同	一、四〇〇	六一二
ムギ澤日向	一、四〇一	一二
同	一、四〇二	一二
ムキ澤日向道下	一、四〇三	二〇〇
同	一、四〇四	五二〇
ムギ澤日向	一、四〇五	四二〇
麥澤日向	一、四〇六	一二
同	一、四〇七	一二
ムキ澤日向	一、四〇八	八〇〇
馬場上	一、四三八	二一〇
同	一、四三九イ	二〇〇
同	一、四四〇イ	二一〇
麥澤日影上	一、五二二	一〇〇〇
同	一、五二四	六一〇

農商務省告示第八十一號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十四年二月八日

農商務大臣 男爵大浦兼武

群馬縣吾妻郡澤田村大字上澤渡

字	地番	面積（町段畝歩）	所有者
上野	五五三	五五〇九	本田梅吉
同	甲 五五二	四二二四	關仁平
同	乙 五五四	一一四	
同	乙 五五二	二五一〇	關七平
同	甲 五五四ノ一	二二一四	關仁平
中野	甲 一、二八五ノ一	八九一三	高平茂太郎
同	甲 同 ノ二	一、四九二〇	唐澤ゆり
同	甲 一、二八七ノ一	四九〇三	唐澤久四郎
同	乙 一、二八七	九九一二	町田庄藏
同	一、二八三	四八二六	唐澤秀吉
繩取	甲 一、六九五	一、三〇二九	島村濱吉
同	一、六九六	九四〇七	唐澤六三郎
城越	乙 一、九四〇	二二七	關德松
同	甲 同	五一二	
古座部	乙 六七一	一二一一	唐澤脩藏
同	丙 同	一二〇三	關仁平
久森	乙 二、五〇二	一八〇六	本多紋三郎
同	丙 同	五一〇	劍持茂作

字	地番	面積（町段畝歩）	所有者
同	二、五〇三	五〇三	町田モト
同	甲 二、五〇四	六二九	劍持茂作
同	丁 二、五〇一	四〇三	高平幸三郎
北原	丙 二、六八八	一八一四	高平勝藏
同	二、七三四ノ一	一、七七一〇	高平清吉
八尺	一、二〇九	一八一三	田村高重郎
同	一、二〇八	一〇〇六	
同	甲 一、二〇四	一三一六	石田寅重郎
同	乙 同	四〇九	田村庄作
同	一、一七二	一四〇八	
同	一、一六七	五一四	登坂與七
同	一、一六六	一、三一七	
賀々森	九八二ノ一	九一九	田村高重郎
同	乙 九八〇	三〇七	田村庄作
同	甲 九八〇ノ三	六一八	
同	同 ノ一	一七二六	
同	九七七	二九〇三	木暮延壽
同	九七六	九一一	伊藤幸太郎
同	九七五	三四二九	町田庄藏
同	九五九	二六一五	二宮勘藏
同	九五八	一四〇一	町田政四郎
同	九五三	二〇一六	
同	甲 同	二〇一五	柏原今吉
金原	乙 七八ノ一	一六〇五	宗本寺
同	七九	三一二一	柏原庄作
同	甲 八三	三二五	高平茂太郎
同	八四	八〇三	木暮文五郎
同	八八	二一二二	町田庄藏
念佛久保	三八六	六一一九	高橋久太郎
同	三八八	六五二四	
同	三八七	三六一三	宮崎順治郎
澤口	五五一	三九一三	町田安一郎
北原	一、五八三	一五〇八	吉田定吉
同	一、五九九	三六〇二	宮崎順治郎
同	一、六二七	三九一四	山本淺吉
同	一、六二八	一三二一	
同	一、六三五	二四一六	
同	一、六三六	九〇七	
同	一、六三三	五七〇四	
同	一、六三七	六〇〇	吉田粂吉
同大字四萬 袋内	乙 五ノ一	九〇〇	宮崎長吉
同	三一	一、〇五〇三	宮崎順治郎
殿界戸	乙 三九	五九〇二	關宗十郎
同	八三	三四〇四	本多嘉一郎
同	一二六	三五〇二	關宗十郎
同	一三九	二一二三	關東喜
同	一二八	二〇〇	宮崎新太郎
同	一二七	三三五	
湯原	乙 八八五	五二一九	宮崎榮次郎
同	一、一九六	一二一七	望月市三郎
三ツ澤	三、三七六	二四一五	唐澤滲吉
栃平	甲 二、七五一	六、一九〇一	宮崎定五郎
同	二、七六〇	三三五	唐澤嘉平
同	二、七六一	四二六	唐澤茂十郎
同	二、七六六	三一四	宮崎勘十郎
同	乙 同 ノ一	三〇二	宮崎定五郎
一ノ渡戸	乙 三、三八六	五二七	佐々木忠綱
同	甲 同 ノ一	一五二六	唐澤品五郎
同	甲 同 ノ二	一〇一	
同	甲 同 ノ三	二四	
同	三、三九五ノ一	二〇二	宮崎吉藏
同	同 ノ二	三〇二	
同	同 ノ三	一〇九	
同	丙 三、三九七ノ一	三〇九	
同	乙 三、三九七	二七〇〇	望月市三郎
同	甲 同	四七二六	
同	乙 三、三九四ノ一	三二六	金井佐平
同	乙 同 ノ二	三三二	
同	乙 同 ノ三	一〇二	
同	甲 三、三九四	三〇二六	宮崎菊次郎
同	三、四〇七	一九〇八	
同	三、四〇六	一一〇	金井佐平
同	三、四〇五	一一一	宮崎菊次郎
同	三、四〇四	九二七	
同	三、四〇三	二三〇三	宮崎市平
同	乙 三、四〇二	二〇〇四	小淵伊佐吉
同	甲 同	一六二二	宮崎吉藏
同	三、四〇一	四一〇	金井佐平
同	三、三九八	一〇二七	宮崎吉藏
同	三、三九九	八〇七	宮崎菊次郎
同	三、四〇〇	一七〇四	
同	三、四一一	一一〇三	
同	三、四一二	一、〇八一三	田村好藏
同	甲 三、四一三	三五二〇	
同	乙 同	五〇二	
秋鹿	甲 三、六二三	一、九〇〇八	島村直五郎
二タ井	三、八一六ノ一	五〇〇一	島村近吉
同	三、八二〇	三七二九	仙田萬藏
山口	三、八五四	四五〇八	田村和五郎
同	三、八五五	三七一七	田村八平
同	三、八五二	一、八〇〇〇	山口福八
同	甲 三、八五一ノ二	二、一九一七	田村八平
同	三、八六五ノ一	七六一四	田村與平
同	甲 四、〇〇一ノ一	一、四六〇四	田村七郎次
同	四、〇〇二	七〇四	田村和五郎
中井	甲 四、〇二六	二五一三	田村ため
同	四、〇二七	一、三三〇五	高瀬四郎
同	四、〇三三	三六一二	關善平
同	四、〇三六	二九二一	
同	四、〇三八ノ一	三一一七	山口彰吾
同	同 ノ二	四〇二	
同	四、一三四	一七二三	田村茂三郎
同	四、一三五	三六〇七	山口彰吾
新湯	甲 四、二三八ノ八	三三〇四	島田俊一郎
同	甲 同 ノ四	九三〇三	
同	甲 同 ノ五		
同	四、二四二	一、六八一七	高瀬四郎
同	四、二四三	一二二二	田中甚平
同	四、二四四	一、九一一一	田村茂三郎
同	四、三四〇	四二一五	
同	四、三四三	一、七三〇七	
同	四、一四一	一九一二	
井戸澤	四、三八九	二、一〇〇〇	山口八平次
同	四、三九〇	二、五五二五	
同	四、三九一	六、一六〇〇	
同	四、三九二	六、五六〇七	
同	四、三九三	六、四六〇〇	
同	四、三九四	六、三七一五	
同	四、三九五	六、一八二二	
同	四、三九六	五、九八〇〇	
同大字折田 戰道	二、二〇〇ノ一	一八二〇	仙田万藏
同	一、一八九	六〇九	柏原富吉
同長野原町大字川原畑 東宮	三七九	五一五	中島類太郎
同	三八〇	一四〇一	野口傳八
同	三八七	八〇六	高山荒次郎
同	三八八	二一九	野口茂四郎
同	三八九	二一二	中島永吉
同	三九〇	八二三	野口霊太郎
同	三九一	一五〇九	野口ツヤ
同	丙 四四五	二六〇六	中島新一郎
三平	甲 四五〇	三四二二	中島文七
同	甲 四五一	三三〇七	高山彌作
同	甲 四五二ノ二	一四一三	野口茂四郎
二社平	甲 八三〇	一〇一六	篠原竹次郎
同	甲 八三一	八〇〇	篠原榮作
同	八三二	二六	野口武平
同	八三三	三〇二	野口傳八
同	八三四	二二〇	中島倉次郎
同	八三五	三〇〇	野口福藏
同	八三六	三一九	中島新市郎
同	八三七	四一九	野口織平
同	八三八	四一三	中島倉次郎
石畑	甲 一、〇三一	二二	野口龜吉
同	乙 一、〇三五	九	野口福藏
同	一、〇三八	三〇二	中島永吉
同	丙 一、〇三九	四一一	高山彌作
同	一、〇五六ノ三	一〇二四	野口金八
同	甲 一、〇五八ノ一	一六一〇	高山彌作
同	甲 同 ノ三	八〇八	
同	一、〇五九ノ一	七二三	
同	一、〇五二	八一六	野口正治
同	九九一	二九〇二	高山彌作
同	九九二	五〇〇〇	野口傳八
同	九九三	一、七六〇六	小林政藏
八ツ場	一、〇六五	三三二三	中島倉次郎
同	一、〇六六ノ一	一二一	野口茂四郎
同	一、〇七〇ノ一	六一一七	高山安藏
同	甲 一、〇七一	一〇〇〇	野口福藏
同	甲 一、〇九六ノ一	三三一〇	野口茂四郎
同	一、〇九七ノ一	二八一〇	野口ツヤ
同	乙 一、一一〇ノ一	二〇〇	高山はん
同	甲 一、一一八	五〇〇四	野口茂四郎
同	甲 一、一二〇	一八一三	野口傳八
同	甲 一、一一四	一八	野口福藏
同	甲 一、一一五	一一六	野口太平
西宮	九〇	三五二五	野口茂四郎
同	甲 三七	一七一九	野口市太郎
同	三四	二七二〇	野口虎吉
同	三三	一八二三	高山彌作
同	一三ノ二	一四二四	野口ツヤ
同大字川原湯 中原	一七八	二三二六	小林彌之作
同	一七九	五八二〇	金子周平
同	二六一ノ一	九三〇八	竹内眞吉
同	甲 二六二	三三二〇	豐田幸次郎
上打越	二六六	二九二八	金子周平
同	二六九	三三二七	田中松太郎
同	二七九	一七二〇	
同	甲 二八〇	九七二一	野口茂四郎
同	三〇二	四〇八	樋田喜三郎
同	三〇三	五八〇三	樋田宗七郎
同	甲 三〇八ノ一	七一一五	樋田甚重郎
金花山	五一〇	八三一九	田中倉平
同大字林 久森	甲 一、五八六ノ一	四、二三〇〇	浦野安
同	同 ノ二	七〇〇五	
同	甲 一、五八七ノ一	四二一七	
同	甲 同 ノ二	一三〇九	

本文

第 8128 17 号

第 8287 号　本文

○敍任及辭令

○明治四十四年二月七日

陞敍高等官六等　拓殖局書記官從七位　波多野保二

七級俸下賜　拓殖局書記官　波多野保二

（各通）
京都帝國大學福岡醫科大學敎授醫學博士　稻田龍吉
陸軍軍醫學校敎官陸軍三等軍醫正　齋藤雄助
臨時脚氣病調査會委員被仰付

御用有之歐米各國ヘ被差遣　千住製絨所技師　奥田早苗

補露國大使館附　海軍中佐　川原袈裟太郎

依願免本官　岐阜縣技師　勝野井素一

願ニ依リ本職ヲ免ス（以上二月七日内閣）　療養所醫長　吉田　秀

（各通）
陸軍步兵少佐正六位勳四等功五級　下林保武
陸軍三等軍醫正從六位勳四等功五級　松本繁正
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳三等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵少佐正六位勳四等功四級　石川楠次郎
陸軍步兵少佐正六位勳四等功五級　手島半次
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳三等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍步兵大尉從六位勳四等功五級　三友亘矩
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳四等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵大尉從六位勳四等功五級　木野瀨太郎
陸軍一等軍醫正七位勳四等功五級　久野愛之助
陸軍步兵中尉正七位勳五等功五級　長岡正雄
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳四等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍一等主計正七位勳五等　鈴木家英
陸軍步兵中尉從七位勳五等　辻　千代吉
陸軍步兵中尉從七位勳五等　難波光造
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳五等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵中尉從七位勳六等　大崎員雄
陸軍步兵少尉正八位勳六等　加藤與吉
陸軍步兵特務曹長勳六等功六級　宮原久登
陸軍步兵特務曹長勳六等功六級　宗岡實誠
陸軍步兵特務曹長勳六等功六級　曾原仁平太
陸軍步兵特務曹長勳六等功六級　河野祐則
陸軍步兵特務曹長勳六等　宇田貞虎
陸軍步兵特務曹長勳七等功七級　臼杵彌七
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳五等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵特務曹長勳六等　川崎畩次郎
陸軍步兵特務曹長勳六等　中尾畩右衞門
陸軍步兵特務曹長勳七等　竹石政太郎
陸軍步兵軍曹勳七等　矢野吉之助
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵曹長勳七等功七級　藤城芳次郎
陸軍步兵曹長勳七等　末永永次郎
陸軍步兵軍曹勳七等　根間新規
陸軍步兵軍曹勳七等　尾崎止吉
陸軍步兵伍長勳七等功七級　谷原淺次郎
陸軍憲兵上等兵勳七等　石井定次郎
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵上等兵勳七等　森木清太郎
陸軍步兵上等兵勳七等　村井伊右エ門
陸軍步兵上等兵勳七等　谷　常藏
陸軍步兵上等兵勳八等　四ツ辻榮太郎
陸軍步兵上等兵勳八等　坂野源治郎
陸軍步兵一等卒勳七等　中田彌壹
陸軍步兵一等卒勳七等　宮崎作次郎
陸軍步兵一等卒勳八等　榎　忠一郎
陸軍步兵一等卒勳八等　塚家甚藏
陸軍步兵一等卒勳八等　谷口淺吉
陸軍步兵一等卒勳八等　洞口重太郎
陸軍步兵一等卒勳八等　古田常次郎
陸軍步兵一等卒勳八等　野林市左衞門
陸軍步兵一等卒勳八等　岩塚一二郎
陸軍步兵一等卒勳八等　岡田兵太郎
陸軍步兵二等卒勳八等　西畠孫十郎
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳七等太極章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

（各通）
陸軍步兵上等兵勳七等　高野兵藏
陸軍步兵上等兵勳七等　竹山丈吉
陸軍步兵上等兵勳七等　吉田德次
陸軍步兵上等兵勳七等　吉田榮三太郎

陸軍步兵上等兵勳七等　武道市郎
陸軍步兵上等兵勳七等　船崎忠二
陸軍步兵上等兵勳七等　山上淺次郎
陸軍步兵上等兵勳八等　平田祐太郎
陸軍騎兵上等兵勳七等　林　長作
陸軍步兵一等卒勳七等　牛島安太郎
陸軍步兵一等卒勳七等　布村直次郎
陸軍步兵一等卒勳七等　山口作造
陸軍步兵一等卒勳七等　佐藤豐作
陸軍步兵一等卒勳七等　若林彦三郎
陸軍步兵一等卒勳八等　廣瀨嶺董
陸軍步兵一等卒勳八等　仲田廣助
陸軍步兵一等卒勳八等　中川久吉
陸軍步兵一等卒勳八等　間山友藏
陸軍步兵一等卒勳八等　高　寅三郎
陸軍步兵一等卒勳八等　中岩長太郎
陸軍步兵一等卒勳八等　船坂與吉
陸軍步兵一等卒勳八等　沖村太十郎
陸軍步兵一等卒勳八等　新江德助
陸軍步兵一等卒勳八等　杉平孫市郎
陸軍步兵一等卒勳八等　大洞乙次郎
陸軍步兵一等卒勳八等　水木石之助
陸軍步兵一等卒勳八等　吉脇宇三郎
陸軍步兵一等卒勳八等　腰山吉右衞門
陸軍步兵一等卒勳八等　赤梅淺吉
陸軍步兵一等卒勳八等　山下周次郎
陸軍騎兵一等卒勳八等　長瀨朝三
陸軍騎兵一等卒勳八等　渡邊定次郎
陸軍步兵二等卒勳八等　澁谷源治
陸軍步兵二等卒勳八等　酒井長助
陸軍步兵二等卒勳八等　寺下國平
（各通）
韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳七等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル（以上四十三年八月二十八日賞勳局）

御用有之二府九縣ヘ出張ノ序ヲ以テ福岡縣佐賀縣及熊本縣ヘ出張ヲ命ス　商務官　青木鐵太郎
（二月六日外務省）

滿洲ヘ出張ヲ命ス（二月七日内務省）　傳染病研究所長醫學博士　北里柴三郎

免本職補鈴谷艦長　武藏艦長海軍中佐　關　重孝

歸朝被仰付　海軍中佐　田中耕太郎

免本職　鈴谷艦長海軍中佐　川原袈裟太郎
免本職補武藏艦長　舞鶴海軍測器庫主管海軍中佐　松永光敬
免本職補伊吹副長　出雲副長海軍中佐　堀江長吉
免本職補吳海軍測器庫主管　伊吹副長海軍中佐　田中行倘
免本職補海軍軍令部出仕　吳鎭守府副官海軍中佐伯爵　佐野常羽
補佐世保海兵團副長　海軍中佐　森弘長一
兼補丹後副長　壹岐副長海軍中佐　中川庄作
免本職補出雲副長　佐世保海兵團副長海軍中佐　平井德藏
免本職補舞鶴海軍測器庫主管　丹後副長海軍中佐　内藤收次
免本職補吳鎭守府副官　吳海軍測器庫主管海軍少佐　磯貝正吉
歸朝被仰付（以上二月七日海軍省）　海軍軍醫少監　隈川　基

補大館區裁判所檢事　石卷區裁判所檢事檢事　中目倘廣
補石卷區裁判所檢事　大館區裁判所檢事檢事　紺野源助
補酒田區裁判所檢事　豫備檢事（仙臺地方）　鈴木　寛
八級俸下賜　石卷區裁判所檢事檢事　紺野源助
十級俸下賜（以上二月七日司法省）　酒田區裁判所檢事檢事　鈴木　寛

仙臺市ヘ出張ヲ命ス（二月七日東北帝國大學）　東北帝國大學事務官　黑田賢一郎

十級俸下賜（二月六日農商務省）　水產局書記官　川久保修吉

二級俸下賜（一月二十八日朝鮮總督府）　朝鮮總督府醫院醫員　坂田清造

（各通）
檢査官　中村修永
副檢査官　今泉國太郎
遞信省及郵便貯金局會計實地檢査トシテ出張ヲ命ス（二月三日會計檢査院）

（各通）
檢査官　三輪一夫
副檢査官　塘　才二郎
東京府所在近衞師團各部隊會計實地檢査トシテ出張ヲ命ス（二月七日同）

十級俸下賜　岐阜縣立岐阜高等女學校長　蓮沼靈譽
九級俸下賜（以上二月一日岐阜縣）　岐阜縣師範學校敎諭　鈴木利平
九級俸下賜（二月三日鹿兒島縣）　鹿兒島縣立第二鹿兒島中學校敎諭　尾崎敏郎

○宮廷錄事

○紀元節御祭典次第　本月十一日紀元節御祭典次第左ノ如シ

紀元節御祭典次第

朝ノ儀

午前八時御殿ヲ裝飾ス
次式部職官員著床
次皇靈殿開扉
此間奏樂
次神饌ヲ供ス
此間奏樂
次掌典長祝詞ヲ奏ス
次神饌ヲ撤ス
此間奏樂
次閉扉
此間奏樂
次各退下

御親祭ノ儀

午前九時式部職官員著床

○日本赤十字社錄事

特別社員推薦 日本赤十字社ハ左記五十一人ノ社業上ノ功勞又ハ社資ヲ幫助セル篤志ニ對シ特別社員ニ推薦セリ（宮內省）

京都府 長田 桃藏
長崎縣 石山 欒下
新潟縣 植木 久德
荒井 政藏
洲崎 義郎
三重縣 細谷 藤五郎
加納 萬次郎
杉野 周八
荒木 俊
種村 重次郎
堤 要藏
富永 四郎
諸岡 桂
丸林 文八郎
川上 利之助
岡 從橘
山本 茂
貝野 幾太郎
杉本 甚三郎
鶴澤 增藏
北川 三之丞
和田 龍助
萩野 多三郎
黑瀨 脩二
浦岡 久彥
山形縣 高梨 熊男
岡山縣 高取 國藏
小高 悅太郎
山口縣 嘉屋 卯兵衛
田坂 匡亮
中野 久治郎
香川縣 松井 伊和太
木村 喜平
梶原 喜次郎
鎌田 芳枝
十河 愛子
稻毛 義範
山崎 賀次郎
中村 善三郎
村尾 一郎
廣瀨 砂
松原 利章
富田 勘七
森 シュン
伊藤 恒彥
吉田 增太郎
愛媛縣 藤野 漸
伊奈 信弌
大分縣 河野 兼松
應野 梶太郎
沖繩縣 男爵 尚 順
男爵 伊江 朝眞
男爵 尚 琳
飛岡 吉次郎
小牧 藤次郎
島袋 源助
新城 德助
天願 貞次郎
森 龜次郎
海江田 丑之助
若松 太兵衛
藤井 平兵衛
前田 英次郎
山城 高興
滿洲 松原 一雄
渡邊 清
松尾 八百藏

○學事

○學位授與（昨七日ノ續）

學位記

千葉縣平民
從六位勳六等 岡田 武松

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學理科大學敎授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ理學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

一 梅雨ニ就テ（英文）

本篇ハ我邦及ヒ南淸ニ特殊ナル梅雨ノ現象ニ關スル調査ニシテ第一章ニハ一般ニ梅雨ノ現象ヲ說キ第二章ニハ本邦及ヒ淸國ノ各測候所ノ觀測成績ニ基キ梅雨期中ニ於ケル天候ノ特徵ヲ述ヘ（雲量、濕度、雨量、溫度及風速度等ノ變遷ト配布ヲ細說シ梅雨ノ特性ヲ枚擧セリ乃チ（一）梅雨期ニ於テハ曇天連續シ濕度大ニシテ雨量多ク氣溫比較的ニ高ク風速小ナリ（二）陰鬱ナルハ以上ノ事實ニ歸因ス（三）梅雨期ハ一年中ニ於テ雲量及ヒ濕度最大ニシテ風速度カ最小ナル時季ナリ梅雨期中モ氣溫ハ上昇ヲ呈スレトモ其上昇ノ割合ハ雨期ノ前後ニ比スレハ小ナリ（四）梅雨ハ先ツ臺灣及ヒ琉球ニ始マリ次ニ九州ニ遷リ漸次本州ニ波及ス北海道ニ於テハ此現象ハ顯著ナラス（五）梅雨期中本邦ニテハ雲量及濕度ハ太平洋岸ニ大ニシテ日本海岸ニ小ナル傾向アリ然レトモ其差著ルシカラス朝鮮ニテハ東岸ニ大ニシテ西岸ニ小ナリ淸國ニ於テハ南東ニ面スル海岸ニ大ニシテ內陸ニ進ムニ從テ減少ス梅雨期中本邦ニテハ雨量ハ主山脈ノ兩側ニテ著ルシキ差異ヲ見スシテ南海岸殊ニ九州ト琉球ノ間ニ最モ饒多ナリ大陸ニ於テハ雨量ハ一般ニ北ニ進ムニ從ツテ減少ス 第三章ニハ梅雨期中極東ニ於ケル氣壓ニ就テ詳論シ本邦及本邦附近ニ出顯スル低氣壓ヲ生因ニヨリ颶風、大陸颶風、副低氣壓ノ三種ニ區別シ更ニ之ヲ發生ノ場所ニヨリテ北淸及西比利亞揚子江域日本海臺灣及附近太平洋ヨリ來タルモノヽ五種ニ分チ各種低氣壓ノ回數及速度ヲ表示シ梅雨期ニハ揚子江域及臺灣附近ヨリ本邦ニ襲來スル低氣壓カ最モ頻繁ニシテ其速度モ著ルシク小ナルヲ明ラカニシ且ツ各低氣壓ノ生因ニ就キ論述セリ第四章ニハ涸梅雨ヲ調査シ此現象ハ單ニ本邦及ヒ附近ニ限リテ起ルニ非スシテ少クモ北半球ノ大部分ニ亙リテ同時若シクハ月ヲ異ニシテ起コルモノナルヘキヲ述ヘ更ニ古史ニヨリ歐亞ニ亙リテ起リタル旱魃ヲ枚擧シ此現象ハ太陽黑點數ノ多寡ト多少ノ關係アランコトヲ指摘シタリ第五章ニハ梅雨ニ關スル從來ノ學說ヲ批判シ何レモ梅雨ノ現象ヲ說明シ能ハサルコトヲ述ヘ第六章ニハ從來ノ學說ヲ折中シテ自家ノ所見ヲ述ヘ梅雨ノ盛衰ハ夏季北太平洋上ニ存スル大高氣壓ノ位置及ヒ勢力ノ如何ニヨリテ決定セラルヘク其ノ直接ノ原因ハ（一）夏季海洋上ヨリ流入スル 氣節風ニヨリ雲ヲ生スルコト（二）本邦群島被熱ノ結果トシテ氣壓傾度著ルシク減少シ氣節風ノ流入ニヨリ多濕トナルカ爲メ氣層ニ不安定ノ釣合ヲ生シ易ク從テ數多ノ局地性低氣壓ノ發生アリ曇天及霖雨ヲ起コスニ至ルコト（三）梅雨期ニハ揚子江域及臺灣附近ヨリ頻繁ニ發生スル低氣壓ハ北太平洋上大高氣壓ノ影響ニヨリ東偏セル進路ヲトリ續々本邦ニ來襲シ本邦陸地上又ハ太平洋岸ニ沿フテ徐行シ其區域內ニハ副氣低壓ノ發生スルコト多キノ事實ヲ列擧シ最後ニ涸梅雨ノ直接ノ原因ハ北太平洋上ノ大高氣壓ノ位置ノ異常ニヨルナル可シトセリ

二 本邦中部ニ發生スル局地性低氣壓ニ就キ（英文）

本篇ハ信州及ヒ甲州ノ盆地ニ發生セル局地性低氣壓七十八回ニ就キ論述シタルモノナリ此種ノ低氣壓ハ冬季ニ頻繁ニシテ夏期ニ少ナシト雖モ其最モ發達スルモノハ夏期ニ多シ中心ハ概シテ淺薄ニシテ多クハ七百五十四ヨリ七百五十耗ノ間ニアリ七百五十耗以下ニ降ルモノハ甚タ少ナク晝間ニ比スレハ深厚ナルヲ常トス此低壓ノ進行方向ハ主トシテ南東ニシテ時ニ東南東又ハ東ノコトアレトモ是等ハ二箇以上ノ併存スル場合ニ多シトス進行ノ速度ハ一時間ニ付キ平均二十六粁七トナリ冬期ニ最大ニシテ夏期ニ最少ナリ而シテ此局地性低氣壓發生ノ原因ハ甲信盆地ノ地形ト之ニヨリテ生スル太陽熱ノ作用トノ特種ノ關係ニヨルモノニシテ乃チ空氣ノ對流的渦動ノ一種ト見做シ得ヘク其南東ニ進行スルコトハモーン氏ノ低氣壓進行ノ理論ヲ少シク變形シ低氣壓ノ域內ニ流入スル氣流ニ對スル陸地ノ摩擦ノ影響ニ依リテ說明シタリ又此理論ハ一歩ヲ進メテ北淸及ヒ蒙古ヨリ來タル大陸颶風及ヒ米國ニ於ケル低氣壓ノ進行ヲモ說明シ得可キヲ論シ最後ニ此局地性低氣壓ノ豫報ノ方法ヲ指示シタリ

三 極東ニ於ケル大氣活動中心ニ關スル二三ノ調査（英文）

冬期西比利亞大高氣壓ノ優勢ナル時ハ極東一帶ハ寒氣強ク臺灣北部ニテハ雨量增加ス可シ又晩春初夏ニ北太平洋上ノ大高氣壓ノ北西ニ偏在スルトキハ本邦北部ニ於テハ涼冷ノ天候ヲ生ス此事實ヲ上海長崎根室基隆等ニ於ケル氣象觀測ニ據リ統計學上ノ相關ノ方法ヲ應用シテ之ヲ明ラカニセリ

四 本邦ニ於ケル蒸發量（英文）

本篇ハ本邦ニ於ケル蒸發量ノ觀測成績ヲ調査シタルモノニシテ各地ニ於ケル蒸發量ノ一年中ノ變遷ト蒸發量ノ分布ヲ論シ異ナレル海拔ノ觀測ヲ同一ノ海拔ニ更正スル方法ヲ述ヘ等蒸發量線ヲ描キ日照風速地形等ノ影響ヲ述ヘ最後ニ蒸發量ト降水量ノ比較ヲ爲セリ

五 東京ニ於ケル快晴、晴天、曇天等ノ日ニ於ケル氣壓一日中ノ變化ニ就テ（英文）

ラモント、レンネル、中村精男ノ諸氏ハ曇天ト快晴ノ日ニ於ケル氣壓一日中ノ變化ヲ研究シ一日ヲ週期トスル變化ハ曇天ト快晴ノ日ニ於テハ著ルシク異ナレトモ半日ヲ週期トスル變化ハ敢テ其差違ヲ見スト云ヘリ本篇ハ東京ノ觀測ニ基キ曇天快晴ノ日ト其中間ノ雲量ヲ有スル日ノ氣壓一日中ノ變化ヲ調査セルモノニシテ其結果ヲ見ルニ一日ヲ週期トスル變化ハ振幅及ヒ位相共ニ曇天ノ日ニ於テハ之ヲ快晴ノ日ニ比スルニ著ルシク少ナレトモ中間ノ雲量ヲ有スル日ニ於テハ左程ノ變化ヲ認メス乃チ雲ハ殆ント全ク天ヲ蔽フニ非ラスンハ氣壓一日中ノ變化ニ影響ヲ及ホサヽルカ如シ故ニ氣壓一日中ノ變化ノ中一日ヲ週期トスル部分ハ大陽熱ノ爲メ大氣ノ下層ニ於テ密度ノ變化アルニ歸因スルトノ說ハ當ヲ得タルモノト言フ可カラス又半日ヲ週期トスル變化ハ雲量ノ影響少ナリト雖モ全ク之ナキニ非ラス乃チ雲量ノ小ナル日ニハ之ヲ大ナル日ニ比スルニ其振幅大ナルヲ見ル要スルニ氣壓一日中ノ變化ハ總テ雲量ニ關係スルコト少ナカラサルヲ以テ氣溫ノ變化ニ歸因スル振動ハ大氣中最モ雲層ノ生シ易キ氣層以下ニ起ルモノナルヘシトセリ

（一八）

六 積雪中ノ含熱量ノ一日中變化ニ就テ（英文）

地面ノ皮層ニ於ケル一日中含熱量ノ變化ノ調査ハ氣象學上重要ノ事ニ屬ス各種ノ土壤及水層ニ就キテハ既ニホーメン、ヴヮ井コフ、シェベルト氏等ノ研究アレトモ北地ニ於テハ冬季ハ積雪地ヲ埋ムルヲ以テ含熱量ノ變化ハ全ク雪層ニ起コルコト多シ本篇ハ此雪層中ノ變化ヲ調査シタルモノニシテ先ツ「ベツォルト」氏ノ計算法ヲ變形シ著者カ旭川及札幌ニテ實測セル雪溫ニ就テ含熱量ノ變化ヲ計算シタリ其値ハ裸地ニ比スレハ小ナリト雖モ草地ノモノト略々等シク又快晴ノ日ニ於ケル含熱量ハ曇天ノ日ニ於ケルモノヽ二倍ニ相當スルヲ認メタリ

七 積雪ノ熱傳導率ニ就テ（英文）

札幌及ヒ旭川ニテ種々ノ深サニ於ケル雪溫ヲ實測シ アーベル氏ノ方法ニヨリ雪ノ傳熱率ヲ計算セルモノニシテ雪密度ノ差違ハ多カラス其ノ影響ハ甚タ小ナルモ雪溫ハ差違著ルシク算定セシ積雪ノ傳熱率ハ略々雪溫ノ一次式トシテ表示シ得可キコトヲ示セリ

八 颶風ノ中心ヲ求ムル幾何學的作圖法（英文）

本篇ニ於テハ颶風ノ域內ニテハ（一）風向ト氣層傾度ノ間ノ角ハ不易ナリ（二）風速ハ颶風ノ中心ヨリノ距離ニ逆比例ス（三）氣壓ノ偏差ハ颶風中心ヨリノ距離ノ二乘ニ逆比例スト云ヘル簡單ナル性質ヲ利用シ三點ノ氣象觀測ヨリ幾何學的ニ颶風ノ中心ヲ求ムル三方法ヲ述ヘタリ而シテ以上ノ三性質ハ地球回轉ノ影響ヲ省略シテ得タルモノナレトモ臺灣及琉球本州南海岸等ニ出顯スル低緯度ノ颶風ニ對シテ充分之ヲ應用スルヲ得可キヲ例示シタリ

九 氣壓傾度ト風速度ノ關係ニ就テ（英文）

從來ノ調査ニアリテハ直接天氣圖上ノ等壓線ヲ基トシテ氣壓傾度ヲ測リタルモノナルカ手心ニヨリテ著ルシキ誤差ヲ生スルノ恐レアリトス本篇ニ於テハ先ツ氣層傾度ヲ算定スヘキ簡單ナル幾何學的作圖法ヲ考案シ之ニヨリテ銚子ニ於ケル氣層傾度ト風速ノ關係ヲ實驗的ニ算出シ四象限ノ各ニ對シ風速ハ傾度ノ一次函數トシテ見ルヲ得可ク理論ト能ク合一スルヲ指示シタリ

以上九編ノ論文ハ何レモ著者カ主トシテ本邦ノ氣象ニ關シテ精細ニ研究セル結果ヲ輯セタルモノニシテ就中其ノ第一ハ梅雨ノ特性ヲ審ニシ其ノ原因ヲ攻究シ從來充分ナル調査ヲ缺ケル現象ヲ能ク說明セルモノナリ又其ノ第二ハ甲信ノ盆地ニ發スル局地性ノ低氣壓ヲ論シタルモノナルカ此ノ種ノ低氣壓ノ調査ハ著者ニ初マリ著者ハ之ニ由リテ天氣圖ノ調製ニ一新面目ヲ加ヘ關東地方ニ於ケル天氣ノ變化ヲ知リ易カラシメタルノミナラス第三ニ於テ亞細亞大陸及ヒ北太平洋上ニ存在スル高氣壓カ其ノ位置ヲ移動スルトキハ延ヒテ本邦ノ氣候ニ如何ナル變動ヲ起スヘキカヲ研究シ第八編ニハ簡單ナル幾何學的作圖法ヲ案出シテ海上ニ於ケル颶風中心ノ位置ヲ正シク求メ得ヘキ方法ヲ示シ以テ天氣豫報及ヒ暴風警報ニ有益ナル貢獻ヲ爲シタリ他ノ五編モ何レモ氣象學上ノ新知識ヲ與ヘタルコト尠ナカラス仍テ著者ハ大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タルモノト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニシテ理學博士ノ學位ヲ授クルノ資格アルモノト認定ス

學位記

岡山縣平民
從五位勳六等 龜高 德平

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學理科大學敎授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ理學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

第一 所謂「エレオマーガリン」酸ノ成分（英文）

本論文ハ明治三十六年ノ刊行ニ係リ桐油ノ酸化ニ係リテ生スル酸中固狀ノモノニクレーツハ「エレオマーガリン」酸ナル名ヲ與ヘ其化學式ヲ$C_{17}H_{30}O_2$ナリトシマクケンネハ之ヲ$C_{18}H_{32}O_2$ナリトセシカ著者ハ本論文ニ於テ其カ$C_{18}H_{32}O_2$ナルヘキヲ其ノ臭素加成物過「マンガン」酸「カリウム」ニ依ル酸化生成物並ニ標準「アルカリ」液ニ對スル當量等ノ吟味ニヨリテ證セリ

第二 所謂「エレオマーガリン」酸ノ構造ニ就テ（英文）

本論文ハ明治四十一年ノ刊行ニ係リ著者ハ前論文ニ於テ「エレオマーガリン」酸ノ成分カ$C_{18}H_{32}O_2$ナルヲ證セシカ更ニ其構造ヲ吟味セントシテ酸化試驗ニ於テ「アゼライン」酸ヲ得タルヲ記シ又「アニリン」トノ反應ニ依リテ「アニリド」ヲ作ルモ加成物ヲ作ラサルコトヲ記シ此等ニ見テ「エレオマーガリン」酸ノ構造ハ$C_9H_{15}\cdot CH_2(CH_2)_7\cdot CO_2H$ニシテ其二重結合ノ一ハ十八原子ノ炭素鎖ノ中央ニ存シ一ハ之ヨリモ「カルボキシル」炭素ニ遠キ一側ニアルヘシトセリ

第三 本邦植物油ニ關スル實驗雜記（英文）

本論文ハ明治四十一年ノ刊行ニ係リ桐油ノ沃素價ヲ新ニ榨取セルモノニツキフュブル法ニテ定メ其カ麻仁油ノ沃素價ヨリ低キヲ亞麻仁油カ「リノレン」酸ヲ含ムニ反シ桐油カ「エレオマーガリン」酸ヲ含ム爲ナリトシ又桐ノ子實中ニ一種ノ脂肪加水酵素カ存スルヲ證シ椿油ノ主ナル酸ハ「オレイン」酸榧油ノハ「ステアリン」酸ト「リノル」酸若クハ其異性體、大豆油ノハ「オレイン」酸ト「リノル」酸若クハ其異性體荏油ノハ「リノレン」酸若クハ其異性體ナルヘキヲ油ノ沃素價酸ノ酸化生成物酸ノ臭素加成物ノ吟味等ニ依リテ知レルヲ記セルモノナリ

第四 「プロトカテチ」酸ノ兩三ノ誘導體（獨文）

本論文ハ明治四十二年ノ刊行ニ係リ「フェノルカルボン」酸ノ「カルボメトキシ」誘導體ヲ用ウレハ「フェノル」ヲ水酸基ト五鹽化燐トノ作用ヲ防クヲ得ルニ由リ之ヲ合成ニ利用スヘキハ先ニフィッシャーカ「パラオキシ」安息酸並ニ沒食子酸等ヨリスル合成ニ於テ記述セシコトナルカ著者ハ之ヲ「プロトカテチュ」酸ニ適用シ之ヲ「グリコルエステル」並ニ「パラオキシ」安息酸等ト縮合セシメテ3 4 二「オキシ」馬尿酸、二「カルボメトキシプロトカテチュイルパラオキシ」安息酸「プロトカテチュイルパラオキシ」安息酸等ヲ合成シ其性狀等ヲ記セリ

第五 紅ノ研究、豫報（邦文）

本論文ハ明治三十九年ノ刊行ニ係リ「アルコール」ニテ抽出シテ精製セル紅ノ成分ヲ檢シ其「ベンゾイル」誘導體ヲ製シ又醋酸曹達ト無水醋酸ト亞鉛末トニテ處理スレハ還元性成體ノ「アセチル」誘導體ヲ與ヘ加里熔融ニ處セハ「パラオキシ」安息酸ト蓚酸トヲ生スルコト並ニ乾溜、亞鉛末ト共ニスル乾溜過「マンガン」酸「カリウム」ニ依ル酸化等諸試驗ノ結果ヲ記セルモノナリ

第六 紅第一報 アーサー、ジョージ、パーキン共著（英文）

本論文ハ明治四十三年ノ刊行ニ係リ「ピリヂン」ト水トヲ用非テ精製セル紅ノ成分カ$C_{15}H_{20}O_{10}$ナルヘキヲ其成分並ニ「ベンゾイル」誘導體ノ成分等ヨリ示シ濃硝酸ハ紅ニ作用シテ「ピクリン」酸ヲ與ヘ加里熔融ニ處スレハ「パラオキシ」安息酸ヲ生シ稀薄加里ト煮沸スレハ「パラクマル」酸ト「パラオキシベンズアルデヒド」トヲ生シ過酸化水素モ亦「パラクマル」酸ヲ與ヘ「ヂアゾメタン」ノ作用ニ依リテ「メチル」化シテ後之ヲ過酸化水素ニテ酸化スレハ「パラメトキシ」肉桂酸ヲ生シ「クロム」酸ニテ酸化スレハ「アニス」酸ヲ生シ紅ハ又「アニリン」並ニ「ベタナフチルアミン」等ト作用シテ鹽ヲ作リ是ハ紅ノ異性體ナル「キサントカーサミン」酸ノ鹽ト見ルヘキモノニシテ其成分モ紅ノ分子式ヲ肯定シ「カリウム」鹽ノ成分紅ノ結晶水量、分子量等モ亦之ニ一致スルコト等ヲ記シ而シテ紅ノ分子中ニハ「パラクマル」酸ト成ル原子團ノ外ニ尙別ニ脂肪基アリテ之ニ其ノ多クノ酸素原子ハ含マレ居ルナランカトスヘキコト等ヲ記セルモノナリ

第七 「シクロオクタン」及「シクロヘプタン」ニ就テ ワハルト、非ルステッター共著（獨文）

本論文ハ明治四十一年ノ刊行ニ係リ非ルステッター及フェラグートノ法ニテ「ブソイドペレチエリン」ヨリ「シクロオクタヂエン」ヲ製シ又「トロパン」ヨリ「シクロヘプタヂエン」ヲ製シサンダランノ法ニテ之ヲ還元スレハ「シクロオクタン」並ニ「シクロヘプタン」トナリ「シクロヘプタン」ハ異性化ニ依リテ六水素加「トルエン」トナリ「シクロオクタン」ハ主トシテ二「メチルシクロヘキサン」トナリ又「ブソイドペレチエリン」ヨリ「シクロオクタヂエン」ト共ニ生スル「ビシクロオクテン」ハ「ビシクロオクタン」トナリ更ニ「シクロオクタン」ノ異性體等ニ還元セラルヽコト等ヲ記セルモノナリ

第八 dl「アラニンエステル」及dl「フェニルアラニンエステル」ノ還元 エミル、フィッシャー共著（獨文）

本論文ハ明治四十二年ノ刊行ニ係リ「グリコヽルエステル」ヲ成ルヘク中性ナル液ニ於テ「ナトリウムアマルガム」ニテ還元スルトキハ容易ニ「アミノアセトアルデヒド」ノ性行ヲ示スモノトナルハ

（一九）

第 8287 号 本文

フィッシャー、ノイベルグトカ殆ト同時ニ觀察セシコトナルカ著者ハ本論文ニ於テd「アラニンエステル」竝ニdl「フエニルアラニンエステル」ヲ同樣ノ法ニテ還元シ之ヲ各相當スル「アミノアセタル」ニ變シ其「ピクリン」酸鹽等ヲ得タルコト竝ニ之ヨリ各相當スル「アミノアルデヒド」ヲ得ントスルニ其生成ハ確ナルモ之ヲ結晶狀ニ析出セシムルコトヲ得ルニ至ラサリシコト等ヲ記セリ

以上ノ論文ヲ審査スルニ申請者龜高德平ハ大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリ仍テ理學博士ノ學位ヲ受クルノ資格アルモノト認定ス

（未完）

○入學許可　秋田鑛山專門學校ニ於テ本年四月ヨリ入學ヲ許可スヘキ者ノ内無試驗檢定ニ依レル者ノ族籍、氏名左ノ如シ（文部省）

採鑛科

秋田縣士族　入見　勇氣	廣島縣平民　浦島　敏	福井縣士族　芥川　清
群馬縣平民　前田　政五郎	秋田縣平民　吉川　金藏	沖縄縣士族　上原　惠理
長崎縣士族　奈良原　健介	秋田縣士族　古瀬　惟彦	靜岡縣平民　藤本　辛一
栃木縣平民　田中　鐵三郎	秋田縣平民　渡邊　準二	福岡縣平民　安藤　正
福岡縣平民　杉原　蕃一	新潟縣平民　宮下　藤吉	秋田縣平民　成田　與三郎

冶金科

秋田縣平民　赤穂　茂治	岡山縣平民　有木　次男	秋田縣士族　田畑　農夫
茨城縣平民　大内　全四郎	秋田縣士族　幸丸　政和	秋田縣士族　諸井　信明
青森縣平民　山田　實	宮城縣平民　門馬　俊行	秋田縣平民　川口　寅之助
青森縣平民　川村　倞二	岡山縣平民　筐田　直次郎	三重縣平民　殿村　繁三郎

○產業

○米實收高　農商務省ノ調査ニ係ル昨四十三年米實收高及同累年比較左ノ如シ△印ハ減（十月三日本欄内參看）（農商務省）

本年ノ米作ハ插秧後例年ニ比シ氣溫低カリシカタメ發育ヲ妨ケラレシ地方尠カラス殊ニ開花季節タル八、九兩月ニ於ケル洪水又ハ暴風雨ハ其區域廣大ニシテ被害ノ程度モ亦激甚ナリシ就中關東一帶ヲ最モ甚シトス是ヲ以テ九州地方ノ作柄頗好ナリシニ拘ハラス其收穫高ハ四千六百六十三万二千五百九十三石ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ一割一分平年ニ比スレハ四分九厘ノ減收ヲ示セリ

米作累年比較表

	石
明治三十四年	四六、九一四、四三四
同三十五年	三六、九三二、二六六
同三十六年	四六、四七三、二九八
同三十七年	五一、四三〇、二二一
同三十八年	三八、一七二、五六〇
同三十九年	四六、三〇二、五三〇
同四十年	四九、〇五二、〇六五
同四十一年	五一、九三三、八九三
同四十二年	五二、四三七、六六二
同四十三年	四六、六三二、五九三
同四十三年（第一回豫想高）	四八、七二五、五九七
同四十三年（第二回豫想高）	四七、四七四、八八九
平年	四九、〇三八、四〇一

平年トハ四十二年ヨリ七箇年前ニ遡リ其内最豐（四十二年）、最凶（三十八年）ノ二箇年ヲ除キ殘リ五箇年ヲ平均シタルモノナリ

米實收高地方別

地方	四十三年實收高	四十二年實收高	平年作	四十二年實收高比較增減	平年作比較增減
九州區	石	石	石	石	石
長崎	四七五、三六六	四六〇、四九八	四六二、二八四	一四、八六八	一三、〇八二
佐賀	九九五、一三八	一、〇〇九、一八〇	一、〇七〇、七一五	△一四、〇四二	△七五、五七七
福岡	二、〇七六、三二二	二、一〇二、三三七	二、二二六、〇八八	△二六、〇一五	△一四九、七六六
熊本	一、五〇三、六八一	一、三七四、三四〇	一、三九〇、二八七	一二九、三四一	一一三、三九四
大分	九三二、七五四	八九〇、二二三	九〇七、九一二	四二、五三一	二四、八四二
宮崎	八四二、八三一	七四九、三九〇	七四〇、〇一〇	九三、四四一	一〇二、八二一
鹿兒島	一、一〇五、一七六	一、〇一一、二二八	九六七、三一五	九三、九四八	一三七、八六一
沖縄	五三、一三一	五七、一九四	四八、四八九	△四、〇六三	四、六四二
四國區					
德島	四三五、〇六四	五三八、四六四	四八七、二五五	△一〇三、四〇〇	△五二、一九一
香川	七六六、二一六	九〇三、〇二七	八二六、五四八	△一三六、八一一	△六〇、三三二
愛媛	八四八、五四四	九一四、二三七	八六一、一四五	△六五、六九三	△一二、六〇一
高知	六三三、八九二	六〇四、六〇五	六一九、〇四七	二九、二八七	一四、八四五
本州西區					
大阪	一、一五一、二四六	一、二〇八、八二七	一、一八四、九七九	△五七、五八一	△三三、七三三
京都	七八八、四二九	八三二、〇六八	八〇二、五八六	△四三、六三九	△一四、一五七
奈良	七二一、九八一	七四七、七九六	七二一、一五八	△二五、八一五	八二三
和歌山	六〇一、七二五	六五二、二四七	六〇七、八六六	△五〇、五二二	△六、一四一
兵庫	二、〇八八、三五八	二、二二一、六〇九	二、一七五、七六五	△一三三、二五一	△八七、四〇七
岡山	一、四二四、七一四	一、六二九、一一九	一、五五〇、八二〇	△二〇四、四〇五	△一二六、一〇六
廣島	一、一二四、一七九	一、二七四、三七四	一、一七八、五二一	△一五〇、一九五	△五四、三四二
山口	一、三一三、〇八三	一、三九三、六〇二	一、三六七、四九九	△八〇、五一九	△五四、四一六
島根	八八一、一四四	九六五、四〇〇	九一九、三五九	△八四、二五六	△三八、二一五
鳥取	六三六、六二六	六五三、一二一	六一八、四四九	△一六、四九五	一八、一七七
本州中區					
東京	一七一、一九一	三五三、一九六	三〇三、七五二	△一八二、〇〇五	△一三二、五六一
神奈川	三〇一、三七四	四七三、九八〇	三七六、八二〇	△一七二、六〇六	△七五、四四六
埼玉	三〇四、三九四	一、一二三、二八一	一、〇〇一、八二八	△八一八、八八七	△六九七、四三四
千葉	一、三四九、四九八	一、八四七、八〇七	一、六五四、九〇一	△四九八、三〇九	△三〇五、四〇三
茨城	一、〇六七、二九七	一、六〇九、五八〇	一、三三四、三一二	△五四二、二八三	△二六七、〇一五
栃木	九二六、八〇〇	一、一〇三、四〇〇	九〇一、〇五八	△一七六、六〇〇	二五、七四二
群馬	四〇八、四四九	五六二、六五七	四六六、三一一	△一五四、二〇八	△五七、八六二
長野	一、一九二、七一三	一、四三八、五四七	一、二六〇、〇二九	△二四五、八三四	△六七、三一六
山梨	二五九、七一一	三八七、五五三	三三四、五三四	△一二七、八四二	△七四、八二三
靜岡	九二二、三六二	一、二三〇、四八七	一、〇四六、五四六	△三〇八、一二五	△一二四、一八四
愛知	一、八六一、〇一四	二、〇〇七、三二八	一、八五二、七〇九	△一四六、三一四	八、三〇五
三重	一、三〇五、一一七	一、三七七、四八四	一、二〇七、一七二	△七二、三六七	九七、九四五
岐阜	一、〇一五、八七七	一、〇四八、〇一八	九七〇、三一四	△三二、一四一	四五、五六三
滋賀	一、三四七、一九四	一、二九八、三二七	一、二七四、六八四	四八、八六七	七二、五一〇
福井	八五八、〇三五	八七七、五五七	八四六、一三九	△一九、五二二	一一、八九六
石川	一、〇八一、一〇二	一、〇四四、六八四	一、〇二九、二四九	三六、四一八	五一、八五三
富山	一、五二〇、三八二	一、六〇四、五〇九	一、五三三、四一一	△八四、一二七	△一三、〇二九
本州北區					
新潟	二、五六一、四三二	二、七三五、一三〇	二、六二四、七七一	△一七三、六九八	△六三、三三九
福島	一、二〇〇、三四〇	一、三八六、二六〇	一、二二七、一七五	△一八五、九二〇	△二六、八三五
宮城	六〇三、一八三	一、一八九、九七一	一、〇〇五、六八四	△五八六、七八八	△四〇二、五〇一
山形	一、五五二、〇八一	一、七七七、八〇四	一、五五一、〇八二	△二二五、七二三	九九九
秋田	一、三六五、三一五	一、六一八、四八〇	一、四七七、四六七	△二五三、一六五	△一一二、一五二
岩手	六三一、一三二	七三一、七四九	六五三、八五六	△一〇〇、六一七	△二二、七三四
青森	九三五、一四〇	九〇〇、七三三	七八六、六八〇	三四、四〇七	一四八、四六〇
北海道區					
北海道	四九一、八六〇	四一六、二四四	二七三、三八一	七五、六一六	二一八、四七九
計	四六、六三二、五九三	五二、四三七、六六二	四九、〇三八、四〇一	減五、八〇五、〇六九	減二、四〇五、八〇八

（備考）平年ノ計ハ内譯ト符合セス是レ全國ノ計ニ於テ算出シタル平年數ヲ記入シタルニ因ル

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
新潟試登錄第千五百九十二號	刈羽郡北條村地内	石油	九二三、四五〇坪	新潟縣刈羽郡柏崎町　今井　茂作	一、一四	試掘願許可
新潟試登錄第千五百九十三號	三島郡與板町、大河津村地内	同	二三七、二四〇	長岡市草生津町　渡邊　八百藏	一、一六	同
新潟試登錄第千五百九十四號	同郡與板町、大津村、島田村地内	同	一六八、〇九〇	新潟縣中蒲原郡早通村　清水　榮太郎　外一人	一、一六	同
新潟試登錄第千五百九十五號	同郡與板町、大津村地内	同	二六六、四〇〇	同上	一、一六	同
新潟試登錄第千五百九十六號	中蒲原郡川内村地内	金、銀、銅、亞鉛	八七八、四八〇	同縣同郡同村　吉田　作太郎	一、一六	同
新潟試登錄第千五百九十七號	佐渡郡西三川村地内	金、銀	四四七、〇九三	同縣佐渡郡西三川村　高柳　角太郎　外一人	一、一六	同
岐阜試登錄第三百五號	大野郡莊川村地内	同	三一三、二二七	岐阜縣大野郡高山町　林　吉之助	一、一六	同
岐阜試登錄第三百六號	同	同	四七、四二三	同上	一、一六	同
新潟試登錄第千五百九十八號	北蒲原郡菅谷村地内	石油	三五〇、〇〇〇	新潟縣北蒲原郡長浦村　長場　迫藏　外一人	一、一七	同
新潟試登錄第千五百九十九號	同郡加治村、金塚村地内	同	五二四、四〇〇	同上	一、一七	同
岐阜試登錄第三百七號	大野郡白川村、莊川村地内	銀、銅、鉛、亞鉛	二一八、三六三	岐阜縣大野郡高山町　富田　喜兵衛　外二人	一、一八	同
新潟試登錄第千六百號	三島郡大津村地内	石油	一六八、七四〇	長岡市下中島町　北谷　清八　外一人	一、一八	同
新潟試登錄第千六百一號	同	同	一四、七二九	同上	一、一八	同
新潟試登錄第千六百二號	同	同	二一、一五六	同上	一、一八	同
新潟試登錄第千六百三號	古志郡上鹽谷村地内	同	三四一、七五七	同市新町　樋口　與一郎　外一人	一、一八	同
新潟試登錄第千六百四號	南蒲原郡本成寺村地内	同	四〇九、四〇〇	新潟縣南蒲原郡三條町　川野　郁太郎　外二人	一、一九	同

試掘不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
新潟縣南魚沼郡大倉村地内	石油	一九七、三六三坪	新潟縣北魚沼郡小千谷町　吉澤　傳次郎	一、一七	新潟試登錄第千二百五十九號及同第千五百七十八號石油鑛區ニ全部重複ニ付キ試掘願不許可

○通運

○通常郵便物數　內地各局所ニ於ケル昨四十三年九月中通常郵便引受數ハ一億四百九十二万五千八百十九箇ニシテ之ヲ前年同月分ニ比スレハ十三万五千四百二十六箇卽チ零割零一厘ヲ減セリ其詳細左ノ如シ△印ハ減（遞信省）

種別			四十三年九月分	前年同月分	前年同月分比較增減	同上割合
書狀			二五、〇九〇、八四八	二四、八七一、四一二	二一九、四三六	割 〇・〇九
無封書狀			九六六、三八二	八四二、八八二	一二三、五〇〇	一・四七
葉書	通常		五一、三二二、一七九	五一、一四九、六〇七	一七二、五七二	〇・〇三
	往復		七一八、二三八	七二五、〇九八	△六、八六〇	△〇・〇九
	封緘		一二一、〇七四	一三八、九五六	△一七、八八二	△一・二九
	私製		四、二九四、一六八	四、〇七一、七一一	二二二、四五七	〇・五五
	計		五六、四五五、六五九	五六、〇八五、三七二	三七〇、二八七	〇・〇七
新聞雜誌			一三、七八七、四四八	一四、八一八、一〇三	△一、〇三〇、六五五	△〇・七〇
書籍類			二、九四八、〇三六	二、五八一、七五四	三六六、二八二	一・四二
業務用書類			一、一一三、六〇九	一、一二七、五八五	△一三、九七六	△〇・一二
見本			三四六、〇八七	三三四、四三四	一一、六五三	〇・三五
農產物種子			一六九、九六六	二九一、九三七	△一二一、九七一	△四・一八
無料			四、〇四七、七八四	四、一〇七、七六六	△五九、九八二	△〇・一五
總計			一〇四、九二五、八一九	一〇五、〇六一、二四五	△一三五、四二六	△〇・〇一
內 書留	有料		一、一五五、二三一	一、一一〇、六七一	四四、五六〇	〇・四〇
	無料		三三三、五一七	二八七、八九七	四五、六二〇	一・五八
價格表記	有料	箇數	一九、六三七	二九、二八一	△九、六四四	△三・二九
		金額	圓 三一〇、三七五・〇二〇	圓 五一三、二四四・六〇八	圓 △二〇二、八六九・五八八	△三・九五
	無料	箇數	五、〇八八	一七、二七三	△一二、一八五	△七・〇五
			一〇二、五〇九×	一〇二、五一〇	△一	—
		金額	圓 五一〇、八七九・八〇五	圓 一、三七八、〇九八・〇三八	圓 △八六七、二一八・二三三	△六・二九
			×三、四七八、八四四・五一七	×二〇、九六二、一一二・五六五	×二、五一六、七三一・九五二	×一・二〇
代金引換（有料）		箇數	二四三	一九七	四六	二・三四
		金額	圓 七、四六一・〇九〇	圓 六、六三七・二一〇	圓 八二三・八八〇	一・二四
廣告郵便			二、六〇一、一四一	二〇四、五三一	二、三九六、六一〇	一一七・一八
現金取立（有料）		口數	一、二九二	八八四	四〇八	四・六二
		金額	圓 一六、一八〇・一三三	圓 一二、八九二・〇八二	圓 三、二八八・〇五一	二・五五

（備考）價格表記無料中×印ハ通信官署部內ニ於テ爲替貯金資金受授ノタメ取扱ヒタルモノトス

○航海獎勵認許證書下付　遞信省ニ於テ航海獎勵法ニ依リ大阪商船株式會社所有船大智丸ニ對シ一昨六日ヨリ明治四十五年一月十九日マテ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ同三十八年九月二十二日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船（總噸數千二百五十八噸四〇、最强速力十二海里一九）ニシテ同年七月一日進水セシモノナリ（遞信省）

正誤

去月二十八日本欄鑛業事項ノ項中靜岡試登錄第百四號ハ靜岡試登錄第百四十號ノ誤

農商務書記官

昨七日同水路告示第二千三百十四號第七二六二項中位置ノ部「Tanjong Aros上ノ下「Tanjong Aros」ハ別行ト爲ルヘキノ誤植

○帝國議會

○貴族院

○委員會　今八日開會ノ委員會左ノ如シ

請願委員會　議事散會後

第8287号　本文

○衆議院

○議案提出　昨七日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

利根付小貝川改修工事ニ關スル建議案（小久保喜七外八名）

○豫算委員當選　昨七日豫算委員（第八部）市田兵七ノ補闕トシテ守屋此助當選セリ

○委員會　今八日開會ノ委員會左ノ如シ

羽越沿岸鐵道敷設ニ關スル建議案外一件委員會
裁判所位置名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案委員會
以上午前十時

鐵道建設ニ關スル建議案（町田旦龍外一名提出）外四件委員會
請願委員第三分科會
船舶法中改正法律案外一件委員會
午後一時

○在外公館報告

○吉林「ペスト」狀況　吉林ニ於ケル「ペスト」狀況ニ付キ同地駐在領事林久治郎ヨリ本月五日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月一日本欄內參看）（外務省）

客月二十六日電報後當地ニ於ケル「ペスト」ハ漸次蔓延ノ模樣アリテ官憲ノ報告ニ據レハ初發以來二月四日マテニ死亡セル者六十三名ニ上リ昨今ハ每日五六名以上ノ死者ヲ見ルニ至レリ

○マニラ虎列剌週報　マニラニ於テ去月八日ヨリ同十四日ニ至ル一週間虎列剌患者死者共皆無ナル旨在同地帝國領事館ヨリ報告アリ（去月二十五日本欄內參看）（外務省）

○鐵嶺重要物產相場　鐵嶺ニ於ケル重要物產相場（自去月一日至同二十日）ニ付キ在同地帝國領事館ヨリノ旬報左ノ如シ（外務省）

品目	最高價格	日	金一圓ニ對スル銀相場	最低價格	日	金一圓ニ對スル銀相場
自一月一日至十日（一月十八日附報告）						
大豆	圓 九•四四〇	八	圓 一•二〇四	圓 八•八八〇	三	—
高粱	七•八六〇	七	一•二〇四	七•七八〇	四	—
小麥	一二•八五〇	一〇	一•〇〇〇	一二•二三〇	二	—
玉蜀黍	八•八八〇	一	—	六•八一〇	六	一•二〇四
小豆	一一•三九〇	九	一•二〇四	一〇•五六〇	五	—
豆餅	一•二〇〇	一	（本價格ハ一日ヨリ十日マテ同一相場續行）			
自十一日至二十日（同二十八日附報告）						
大豆	九•七三〇	二〇	一•二〇四	九•二〇〇	一一	一•二〇四
高粱	八•一三〇	一八	一•一九六	七•七八〇	一三	一•一九三
小麥	一三•〇七〇	一一	一•二〇四	一二•五〇〇	一五	一•一九三
玉蜀黍	七•六五〇	一八	一•一九六	六•二六〇	一三	一•一九三
小豆	一二•〇九〇	一七	一•一九六	一〇•七〇〇	一三	一•一九三
豆餅	一•一三〇	一六	一•一九六	一•一〇〇	一一	一•二〇四

（備考）相場ハ淸國小銀貨ヲ以テ表示シ鐵嶺斗量一石ニ對スル價格トス
昨四十三年十二月二十一日ヨリ同三十一日マテノ分ハ報告未著ナリ

○上海蠶絲市況　上海ニ於ケル昨四十三年十一、十二兩月中ノ蠶絲市況ニ付キ同地駐在總領事有吉明ヨリ去月二十四日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

手合高　十一月中當地蠶絲手合高ハ四千百俵ニシテ前月ニ比シ三千六百俵ヲ前年同月ニ比シ二千俵ヲ孰モ減退セリ其仕譯左ノ如シ

	本月中	前月中	前年同月中		本月中	前月中	前年同月中
白絲 歐洲向	俵 一,七〇〇	俵 三,七〇〇	俵 三,一〇〇	黃絲 歐洲向	一,六〇〇	一,九〇〇	二,〇〇〇
白絲 米國向	八〇〇	二,一〇〇	一,〇〇〇	合計	四,一〇〇	七,七〇〇	六,一〇〇

十二月中手合高ハ三千七百俵ニシテ前月ニ比シ四百俵、前年同月ニ比シ千七百俵ノ各々減額ヲ示セリ其仕譯左ノ如シ

	本月中	前月中	前年同月中		本月中	前月中	前年同月中
白絲 歐洲向	俵 一,七〇〇	俵 一,七〇〇	俵 一,九〇〇	黃絲 歐洲向	一,六〇〇	一,六〇〇	一,五〇〇
白絲 米國向	四〇〇	八〇〇	二,〇〇〇	合計	三,七〇〇	四,一〇〇	五,四〇〇

相場　十一月末相場左ノ如シ

白絲ハ前月中歐洲ニ於ケル需要激增セルタメ倫敦市場ノ影響ヲ受ケ相場著シク騰貴シ十一月ニ入リ月初歐洲方面ノ需要依然增加一方ニシテ七里絲及下級大繰絲ノ如キハ供給不足ヲ告ケ市況益々引締リ月末ニ近ツクニ從ヒ荷主ハ尙ホ約二十兩ノ上値ヲ要求シ內地市場强硬ニシテ輸出向白絲ノ供給ハ却テ豫想外減退セシカ如ク月內ノ手合高歐洲市場需要發生初期タル前月ニ比シテハ遙ニ遜色ヲ示スニ至レリ今各品相場ヲ左ニ示サン

		兩			兩
七里絲	金麒麟印	五〇〇	同	紅龍印特別一、二各號平均	六〇〇
海寧大繰絲	二山及塔印一、二、三各號平均	五〇〇	七里繰絲	公記嫦四印一號	五七五
七里大繰絲	Pegasus 一、二、三各號平均	五九〇	七里千花絲	金虎印特別品	六〇〇
			黃絲	阿陽S、T及S、C二號	各四二〇

柞蠶絲（八繭灰繰絲）ハ約五百俵ノ手合アリ其相場左ノ如シ

	兩		兩
黑塔印一、二各號平均	三三五	蠶桑印一、二號平均	三三〇
黑二鵲印一號	三三二半	金蟾蜍印	三一五
		黑鹿印	三一五

十二月末相場左ノ如シ

白絲取引ハ本月ニ入リ全ク沈靜シ荷主ハ尙ホ上値ヲ豫想スルモ市場軟弱粗絲ノ間ニ手合アルヲ見ル外何等稱スヘキ手合ナク月內手合額ノ如キ僅ニ二千百俵ヲ示セシノミ今各種白絲月末相場ヲ見ルニ左ノ如シ

		兩			兩
七里絲	Cloey Kiling印	五一〇	同	二號	六〇〇
同陸嘉興	鴨印	四七〇	七里繰絲	五獅印特別一、二各號平均	六九七半
同	金星印二號	四四〇	同	龍印一號	六三〇
七里大繰絲	Pegasus 一號	六一〇	同	同　二號	六二〇
同	水牛印一號	六一〇	同	虎印特別品	六一〇

黃絲相場左ノ如シ

	兩		兩		兩
阿陽S、C印一號	四四二半	同三號	四〇五	同T、K印一號	四〇〇
同二號	四二二半	同S、T印二號	四二五	綿州	自三五七半 至三四五

柞蠶絲（八繭灰繰絲）相場左ノ如シ

	兩		兩		兩
紡績娘印一、二各號平均	三五〇	黑豹印一號	三三七半	黑縱印	三一〇

輸出狀況　十一月中輸出額白絲及黃絲五千二百八十二俵ニシテ前月ニ比シ四百十五俵ヲ減退シ前年同月ニ比シ千二百五十俵ヲ增加シ機械絲ノ輸出總額二千三百十一俵ニシテ前月ニ比シ三百一俵ヲ減退シ前年同月ニ比シ六百七十五俵ヲ增加セリ輸出仕譯左ノ如シ

	本月中	前月中	前年同月中		本月中	前月中	前年同月中
白絲	俵 三,七三一	俵 四,〇三三	俵 二,七七一	黃絲	一,五五一	一,六六五	一,二六一
				機械絲	二,三一一	二,七一二	一,六三六
				計	七,五九三	八,四〇九	五,六六八

十二月輸出額白絲及黃絲ハ五千二百三俵ニシテ前月ニ比シ七十九俵ヲ前年同月ニ比シ三百六十俵ヲ各々減退シ機械絲ハ二千三百六十俵ニシテ前月ニ比シ四十九俵ヲ前年同月ニ比シ三百八十八俵ヲ孰モ增額セリ其仕譯左ノ如シ

	本月中	前月中	前年同月中		本月中	前月中	前年同月中
白絲	俵 三,五四二	俵 三,七三一	俵 三,七二〇	黃絲	一,六六一	一,五五一	一,八四三
				機械絲	二,三六〇	二,三一一	一,九七二
				計	七,五六三	七,五九三	七,五三五

今十一、十二兩月中各絲輸出額國別左ノ如シ

	十一月中	十二月中		十一月中	十二月中		十一月中	十二月中
英國	俵 七三	俵 四二	伊國及瑞西	一,五八〇	一,〇八四	印度	九九二	一,三九八
佛國	一,三六三	一,二〇七	露國	一〇	—	香港及海峽殖民地	一九〇	一六七
			米國	一,一一〇	一,三〇五	計	五,二八二	六,二〇三

機械絲ノ輸出額左ノ如シ

	十一月中	十二月中		十一月中	十二月中		十一月中	十二月中
歐洲	俵 一,九九〇	俵 一,五三五	米國	三二一	八二五	計	二,三一一	二,三六〇

在荷　十一、十二兩月末各種蠶絲在荷額左ノ如シ

	十一月末	十二月末		十一月末	十二月末		十一月末	十二月末
白絲	俵 一,五〇〇	俵 一,五〇〇	黃絲	一,〇〇〇	五〇〇	計	三,〇〇〇	二,五〇〇
			野蠶絲	五〇〇	五〇〇			

銀塊及爲替相場　十月中騰貴セル當地銀塊相場ハ同月末ニ至リ漸ク下リ十一月初二十五片十六分ノ十三ヲ唱ヘ八日ニ於テ又々小昂二十六片ヲ示シ爾後漸落二十五片十六分ノ五ヲ唱フルニ至リ十二月ニ入リ益々降リ月末遂ニ二十四片十六分ノ十五ニ終レリ今爲替相場ヲ左ニ示サン

	十月末	十一月末	十二月末
倫敦宛四箇月拂手形	志 片 二 七 $\frac{5}{16}$	志 片 二 六 $\frac{15}{16}$	志 片 二 六 $\frac{9}{16}$
紐育宛同	弗 六三 $\frac{1}{2}$	弗 六二 $\frac{1}{2}$	弗 六一 $\frac{5}{8}$
里昂宛同	法 三•二四 $\frac{1}{2}$	法 三•二〇 $\frac{1}{2}$	法 三•一六
孟買宛三十日拂手形	「ルーピー」 一九二 $\frac{1}{4}$	「ルーピー」 一八九 $\frac{1}{4}$	「ルーピー」 一八六 $\frac{1}{2}$

○上海綿絲市況　上海ニ於ケル綿絲市況ニ付キ同地駐在總領事有吉明ヨリ一昨六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月一日本欄內參看）（外務省）

支那綿絲ハ印度綿二兩安ヲ報シ日本筋注文皆無ナレトモ尙ホ幾分高値ヲ期待スルカ如シ各品相場立タス支那綿絲ハ舊年末ヨリ一兩方高氣配日本綿絲ハ舊正月ナルト割高ナルタメ取引行ハレス藍魚十六手一三二•〇〇、惠比須二十手一三六•五〇

印度綿絲ハ印度安輸入商寳氣アリ舊年末ヨリ尙ホ一兩高トス在荷ハ四七•五〇〇

○重慶礦產物市價　重慶ニ於ケル昨四十三年十二月末ノ礦產物市價ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生河西信ヨリ去月十三日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（十二月二十九日本欄內參看）（外務省）

金 上	每兩	銀三十九兩	紅銅	同	銀三分	（同四錢八分）
金 中	同	三十五兩	黃銅	同	銀一分七厘五毛	（同二錢八分）
金 下	同	三十兩	鐵	同	銀一厘二毛	（同二分）
銀	每兩	紅錢千六百二十文	錫	同	銀四分一厘二毛	（同六錢六分）
白銅	同	銀五分九厘三毛（每斤銀九錢五分）	鉛	同	銀五厘六毛	（同九分）

○重慶綿絲市價　重慶ニ於ケル昨四十三年十二月中ノ綿絲市價ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生河西信ヨリ去月十三日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（十二月二十九日本欄內參看）（外務省）

生產地	手號		一俵價格		
印度	二〇	上等	兩 一四四	乃至	兩 一五〇
		中等	一四三	同	一四九
		下等	一四二	同	一四八
	一〇	〃	一三〇	同	一三二
		〃	一二九	同	一三一
		〃	一二八	同	一三〇
日本	一四	上等	一四八	同	一五三
		中等	一四七	同	一五二
上海	一四	上等	一二九	同	一三五
		中等	一二八	同	一三二
		下等	一二七	同	一三二
湖北	一四		一二八	同	一三二

○香港綿絲市況　香港ニ於ケル綿絲市況（自去月六日至同十九日）ニ付キ同地駐在總領事代理領事船津辰一郎ヨリ去月二十四日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十四日本欄內參看）（外務省）

當二週間當地綿絲市況ハ引續キ高價ヲ維持シ少數强氣買筋ハ一弗乃至三弗方ノ高値ヲ以テ二千二百俵餘ノ賣買ヲ爲セリ約定品引取リハ捗々シカラス支那正月モ目睫ノ間ニ迫リ居ルヲ以テ來春マテハ先ツ活潑ナル取引ヲ見ルコトナカルヘシト思考セラル

重ナル綿絲ノ市價左ノ如シ

Assur Veerjee	十手	弗 自一四四•五〇 至一四六•〇〇	Gold Mohor	十手	一四八•〇〇
Crown	十手	一三〇•〇〇	Indo-china M & R.	十二手	一四八•五〇
				二十手	一六六•〇〇
Currimbhoy	十二手	一四八•〇〇	Moon Mill	十二手	一四九•五〇
	二十手	一六三•〇〇			
David Mill M & R.	二十手	一七〇•〇〇	Pubaney Mills	十手	一四四•〇〇
Dawn	十二手	一五〇•〇〇	Sun Mill	十手	自一四二•〇〇 至一四三•〇〇

各種綿絲ノ取引高左ノ如シ

十手	俵 九七五	十二手	六四〇	二十手	六三五
		十六手	二〇	合計	二,二七〇

當期中著荷ハ香港揚ケ五千二十二俵、上海送五千二百俵、南淸各港送三千俵ナリ

當期末在荷ハ未約定品二万四千俵、約定濟未引渡高三万三千俵ナリ

○カルカッタ及ラングーン商況　カルカッタ及ラングーンニ於ケル商況（自昨四十三年十二月四日至同十二月十七日）ニ付キカルカッタ駐在總領事代理領事平田知夫ヨリ去月六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月三十一日本欄內參看）（外務省）

十二月四日ヨリ同十日マテ一週間ハ「マホメット」敎徒ノ祭日ニ當レルト且ツハ同敎徒ト「ヒンズー」敎徒トノ間ニ儀禮ニ基因スル衝突起リタルタメ市場閉鎖セラレ取引全ク中止セラルヽニ至リタリ同十一日ヨリ十七日マテノ商況左ノ如シ

（甲）カルカッタ

（一）外國爲替（十五日相場）

電信	爲替	一「ルーピー」ニ付キ	志 片 一 四 [illegible]	上海	同 百兩ニ付キ	一八二
	參著	同	一 四 [illegible]		同	一八五
三箇月目拂	單獨爲替	同	一 四 [illegible]	新嘉坡	同 百弗ニ付キ	一七三
	荷爲替	同	一 四 [illegible]		同	一七六
六箇月目拂	同	同	一 四 [illegible]	日本	同 百圓ニ付キ	一四九 $\frac{1}{4}$
	同	同	一 四 [illegible]		同	一五二 $\frac{1}{4}$
香港	三十日目拂	百弗ニ付	「ルーピー」 一三四 $\frac{1}{4}$			
	參著	同	一三七 $\frac{1}{4}$			

（二）綿花

前週ヨリ引續キ市場閉鎖セラレ何等商取引ナカリキ

（三）黃麻

市場ハ本週末ニ至リテ漸ク開ケタリ相場一等品四十七「ルーピー」ナリシモ賣手ノ氣配ハ幾分强氣味ナリシタメ此相場ニテ相當ノ手合行ハレタリ但シ「ハート」印品種ハ三十七「ルーピー」十二「アンナ」ヨリ三十八「ルーピー」見當ナリキ

（四）黃麻製品

「ヘシアン」布　市況沈靜ニシテ見ルヘキ取引ナシ工場ハ時々注文ニ接セシモ孰モ商談纏マラス相場辛クモ保チ合ヘリ

第8287号　本文

四十吋	七号½標準	十二月渡	「ルーピー」「アンナ」 八 〇	四十吋	八号標準	十二月渡 八 一
同		一月ヨリ三月渡	八 二	四十吋	十号½標準	同 一〇 一〇

「ガンニー」袋 本週モ「マホメット」、「ヒンズー」兩教徒ノ爭鬪ノ結果市場殆ト閉鎖ノ姿ナリシタメ見ルヘキ取引ナク主ナル需要地方面ヨリノ商談モ思ハシカラス唯海峽殖民地及緬甸ヨリ折々入電アリシモ賣手ノ高値唱ノタメ商談纏マラス

D. W 鹽袋	四十五吋×二十八吋	一封¾標準	「ルーピー」「アンナ」 三三 八
E袋	四十 吋×二十九吋	同	二二 〇
B. Twills	六 吋×八 吋	二封½標準	二七 八
No. 2 Twills	六 吋×八 吋	同	自二九 〇 至二九 四
A. Twills	八 吋×八 吋	二封¾標準	三一 三

(五)油類

蓖麻子 今週モ引續キ市況振ハス「コロンボ」及歐洲方面ヘノ賣行モ皆無ノ姿ナリ製造家ハ種子類ノ高値ニテ引合ハサルタメ寧ロ休業ヲ希望スル氣配ナリ

藥用品上物	一「モンド」	「ルーピー」「アンナ」 二〇 〇	同 三等品	同	一五 四
ハバプール向二等品	同	一六 八			

芥子 種子ノ出廻時期經過セルト且ツハ工場ニ於ケル製造時間短縮セルトノ結果需要薄ニ拘ハラス相場保チ合ヘリ

不純油(輸出向)	一「モンド」	「ルーピー」「アンナ」 一六 一〇	純 油(內地向)	同	「ルーピー」「アンナ」 自二二 〇 至二三 〇

亞麻仁 歐洲人ノ製品ハ引續キ相當ノ賣行アルモ有荷及製出高減退セリ

沸騰油	一瓩ニ付キ	「ルーピー」「アンナ」 自三三 五 至三三 六	生 油	同	「ルーピー」「アンナ」 自三三 二 至三三 三

(六)油糟類

蓖麻子 本週中ハ內地及錫蘭ノ茶園ヨリ小量ノ需要アリタル外特筆スヘキ手合ナカリキ

粒 物	二「モンド」入袋	カルカッタ船乘	「ルーピー」「アンナ」 四 一二

芥子 目下有荷薄ナルト且ツハ入荷數量ノ大ナラサルタメ相場堅ク保合ナリ但シ本邦ヨリハ今尚ホ商談來ラス

精選白物ハ一袋ニ付キ四「アンナ」乃至六「アンナ」方高値ナリ

蕎色物	二「モンド」入袋	カルカッタ船乘	「ルーピー」「アンナ」 三 五
黑色物	有荷拂底		

亞麻仁 歐洲人ノ製品ハ英本國ヨリ多量ノ注文來リ殊ニ「ゲーリプール」品種最モ多ク需要セラレツヽアルモ供給量甚タ少シ然レトモ相場ニハ何等變動ナシ カルカッタ船乘一「モント」三「ルーピー」一四「アンナ」見當

(七)種子類

本品市場ハ前週以來引續キ閉鎖セラレタルカ故ニ特記スヘキ變動ナシ

(乙)ラングーン

(一)白米

本品市場ハ其主タル需要地方面ヨリ何等入電ナキ故前々週以來引續キ沈靜ノ商況ヲ持續セリ

籾米ハ今ヤ供給全ク杜絕セラルヽニ至リタルモ月末頃ヨリハ更ニ新物ノ入荷アルヘキ見込ナリ

(二)米收穫第三回豫想

緬甸中主ナル十五箇所ノ地方ニ於ケル今春ノ米播種面積ハ七百五十三万六千六百八十二噎ニシテ前年度ノ實際播種面積ニ七万七百三噎ヲ加ヘタルモノナリ收穫豫想高ハ二千六百万噸ニシテ前年ニ比シ一分ノ增收ナル見込ナリ

○孟買綿花市況 孟買ニ於ケル綿花市況ニ付キ同地駐在領事岩崎三雄ヨリ本月四日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ 本月一日本欄內參看 (外務省)

米綿ノ弱氣ニ押サレ相場ノ下落甚シク前週取引至テ不活潑近時「ブローチ」地方ニ霜降リタルモ市況更ニ力ナシ値安物在荷增シタルモ値段折合ハス市況目下平靜現「ファイン、ベンゴル」三一四、「ファイン、カンデッシ」三二〇、「ファイン、センガンワルダ」三五八、「ファイン、アムラオチ」三四〇、三月「ファイン、ブローチ」三七〇在荷三十九万

○觀象

○全國天氣豫報

自二月七日午後六時至二月八日午後六時二十四時間ノ天氣豫報 七日發

第一區 北東ノ風、概ネ曇
第二區 北東ノ風、概ネ晴後曇天ト爲リ 雨模様アリ
第三區 第二區ニ同シ
第四區 北東ノ風、概ネ曇ナレトモ 雨又ハ雪模様アリ
第五區 北ノ風、概ネ晴後曇
第六區 第五區ニ同シ
第七區 北ノ風、概ネ曇ナレトモ雪模様アリ
第八區 第五區ニ同シ
第九區 北西ノ風、概ネ曇ナレトモ 雪模様アリ
第十區 北西ノ風、概ネ晴ナレトモ 雪模様ノ處アリ

○東京地方天氣豫報

北ノ風、晴後曇

○暴風警報

風强カルヘシ二月六日午後四時東京地方ヲ警戒シ、同七日午前九時警戒ヲ解ク

○東京氣象

二月六日

氣壓(海面ノ度)	平均	七六一・二粍	日照時間		八・三時
氣溫	平均	三・二度	風	平均速度	四・二米
	(平年ヨリ〇・六度高シ)			最大速度	八・一米
	最高	一〇・二度		最多方向	北西
	最低	(-)二・一度			
濕度	平均	五六・六%	降水	總量	一粍
水蒸氣張力	平均	三・二粍		一時間最大量	一粍
雲量	平均	一・七	蒸發總量		二・四粍
			記事		朝霜アリ

(以上中央氣象臺)

○地震

東京ノ地震報告左ノ如シ

二月六日 午後八時四十八分二十四秒 微(感覺ナシ)

(二四)

○土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者 鐵道院
事業ノ種類 停車場擴張

起業地 東京府北豐島郡巢鴨村、高田村地內

右公告ス

明治四十四年二月八日 內閣總理大臣 侯爵桂太郎

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者 福岡縣
事業ノ種類 道路改修
起業地 福岡縣朝倉郡甘木町、立石村、金川村、三奈木村、大福村、宮野村、朝倉村地內

右公告ス

明治四十四年二月八日 內閣總理大臣 侯爵桂太郎

○廣告

○參賀參拜時限

本月十一日紀元節ニ付キ非役從二位以下(有爵者竝ニ華族ノ禮遇ヲ享クル者ヲ除ク)同勳二等以下ノ者ハ正午十二時ヨリ午後二時マテニ參賀參拜スヘシ

但シ有位有勳者ハ位階相當ノ大禮服無位有勳者ハ通常禮服(燕尾服)勳章本綬佩用ノコト

明治四十四年二月 式部職

○檢定教科用圖書

師範學校歷史科用
教科適用東洋歷史地圖 全一冊
明治四十三年十一月二十五日修正六版發行 定價金三十錢
著作者 福井縣平民 桑原隲藏 發行者 東京府東京市小石川區小日向水道町七十三番地東京府平民 西野虎吉

右明治四十四年二月六日檢定ス

中學校及高等女學校歷史科用
教科適用東洋歷史地圖 全一冊
明治四十三年十一月二十五日修正六版發行 定價金三十錢
著作者 福井縣平民 桑原隲藏 發行者 東京府東京市小石川區小日向水道町七十三番地東京府平民 西野虎吉

右明治三十九年十二月十一日檢定濟ノ處修正發行セリ依テ更ニ明治四十四年二月六日檢定ス

中學校地理科用
中等教科最近地理學 外國篇 全三冊
明治四十四年一月三十日修正四版發行 定價各金五十錢
編纂者 三省堂編輯所 發行者 東京府東京市神田區裏神保町一番地靜岡縣士族 龜井忠一

右明治四十四年二月六日檢定ス

中學校漢文科用
近古史談鈔 全一冊
明治四十四年一月三十日訂正再版發行 定價金二十五錢
校訂者 埼玉縣平民 深井鑑一郎 發行者 東京府東京市日本橋區本石町三丁目十七番地岐阜縣平民 大葉久吉
大阪府大阪市東區備後町四丁目三十七番地大阪府平民 吉岡平助

中學校歷史科用
上級日本歷史 全一冊
明治四十四年二月二日訂正再版發行 定價金五十五錢
著者 東京府士族 笹川種郎 發行者 東京府東京市日本橋區大傳馬町二丁目十六番地東京府平民 內田淺

右孰モ明治四十四年二月七日檢定ス

明治四十四年二月 文部省

○生徒募集

東京女子高等師範學校附屬高等女學校

本年四月ニ入學セシムヘキ當校第一學年生徒若干人ヲ募集ス入學志願者ハ左記ノ各號ヲ承知スヘシ

明治四十四年二月

一 入學志願者ハ尋常小學校ヲ卒業シ本年四月ニ於テ年齡滿十二年乃至滿十四年ノ者タルヘシ但シ本年三月末日マテニ尋常小學校ヲ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ニ依リ出願スルコトヲ得

二 入學志願者ハ本年三月十五日マテニ當校ニ到著スヘキ日取ヲ以テ左式ノ履歷書ニ檢定料金一圓(現金若クハ振替貯金「口座東京六五六三番」)ヲ添ヘテ差出スヘシ

履歷書(用紙半紙)

族籍何某娘女姉妹又ハ戶主等 何 某 生年月日

一 原籍地
二 居住地
三 家長ノ姓名及職業(他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其家ノ家長ノ姓名職業ヲモ併記スヘシ)
四 從前ノ教育
明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何地何學校ニ於テ何科第何學年修了又ハ卒業或ハ明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何地何某ニ就キ又ハ家庭ニ於テ何々修業等
五 賞罰
明治何年何月何地何所ニ於テ何々ニ付キ褒賞又ハ懲罰ヲ受ク等
六 健康ノ狀態
生來著シキ疾病ニ罹リシコトノ有無及病名竝ニ目下ノ狀態等

右ノ通ニ御座候

年 月 日 族籍居住地及本人トノ關係 何 某 ㊞

三 入學檢定ハ之ヲ二次ニ分チ第一次ニ於テハ入學志願者ノ全部ニ就キテ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ國語(講讀、書取及作文)竝ニ算術ノ學力ヲ試驗シ第二次ニ於テハ第一次ノ檢定ニ合格シタル者ニ就キテ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ修身、歷史等ニ關シテ口頭試驗ヲ行ヒ兼テ身體ヲ檢査ス

四 入學檢定ハ左ノ日時割ニ依リ當校內ニ於テ之ヲ施行ス

日/時		午前八時ヨリ十時マテ	午前十時ヨリ十二時マテ	午後一時ヨリ三時マテ
第一次檢定	三月十九日(日曜)	算術	國語(講讀書取)	國語(作文)
第二次檢定	三月二十六日(日曜)	口頭試驗及身體檢査		

五 入學志願者ハ入學檢定ノ當日午前七時五十分マテニ左ノ物品ヲ携帶シテ出頭スヘシ

第一次檢定當日 半紙、鉛筆、小刀、辨當 第二次檢定當日 尋常小學校卒業證書、辨當

(備考) 當校規則中改正條項摘要

第九條 入學ヲ願フ者ハ指定ノ期日內ニ履歷書ニ檢定料金一圓(現金若クハ振替貯金「口座東京六五六三番」)ヲ添ヘテ差出スヘシ

第十條 一旦納付シタル檢定料ハ之レヲ還付セス

第十一條 入學ヲ許可スヘキ者ハ入學志願者中身體及學力ノ檢定ニ合格シタル者ニ就キテ之レヲ選定ス

第十一條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學料金一圓ヲ納付シ第二號書式(書式ハ茲ニ略ス)ニ依リテ保護者ヲ屆出ツヘシ但シ保護者ニシテ東京市若クハ其ノ附近ニ住居セサルトキハ代理者ヲ定メテ屆出ツヘシ

保護者ハ學校ト協同シテ生徒ノ監督及指導ヲ爲スヘキモノトス

保護者代理者ハ東京市若クハ其ノ附近ニ住居シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立テ前項ノ責務ヲ盡クスニ適シタル者タルヘシ

第十二條 授業料ハ生徒一人ニ付一學年金貳拾七圓五拾錢トス

(二五)

第8287号 本文

本年四月入學セシムヘキ本校第一年級生徒約四十人ヲ募集ス入學セントスル者ハ來ル三月二十日マテニ左記入學志願者心得承知ノ上入學願書ニ履歴書ヲ添ヘ本校ニ願出ツヘシ

明治四十四年二月　千葉縣東葛飾郡松戸町　千葉縣立園藝專門學校

入學志願者心得

入學者資格　本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢滿十七年以上品行端正身體壯健ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヘシ

一中學校ヲ卒業シタル者又ハ在學者ニシテ來ル三月三十一日マテニ卒業スヘキ見込アル者但シ本文ノ期間内ニ卒業セサルトキハ無效トス

一專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

一專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル學校ヲ卒業シタル者（本年ヨリ甲種農業學校卒業者ヲ含ム）

入學出願手續　入學志願者ハ本校學則第十四條ニ依ル入學願書及履歴書ニ當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書ヲ試驗檢定合格證書及自己ノ手札形寫眞（半身脱帽ノモノニシテ裏面ニ姓名及撮影ノ年月日ヲ明記スヘシ）ヲ添付シ書留郵便ニテ本校長ニ差出スヘシ

入學試驗科目　入學試驗ハ身體檢査及學科試驗ノ二トシ學科試驗ハ左ノ學科目ノ中ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

一國語　一數學　一物理及化學　一博物　一英語

出願期日　入學試驗ハ本年四月四日本校ニ於テ施行スルヲ以テ志願者ハ同日午前九時必ス出願スヘシ

學則要求　學則ヲ要求スル者ハ郵便切手二錢ヲ添付スヘシ

○郵便局類燒

本月一日信濃國科野郵便局類燒セシモ郵便物其他異狀ナシ

明治四十四年二月　遞信省

○通信生募集

當局ニ於テ今般通信生ヲ募集ス志願者ハ左項ヲ了知シ出願スヘシ

明治四十四年二月　東京遞信管理局

年齢　男子ハ滿十三年以上滿二十年以下、女子ハ滿十三年以上ニシテ家事ニ繁累ナキ者

但シ三等局選出者ニ限リ滿十四年以上トシ其男子ハ滿二十五年以下トス（志願者ハ當局所轄區域内保證人ノ頃ニ記ス）ニ居住ノ者ニ限ル

入學試驗　高等小學卒業程度ニテ科目ハ讀書、作文、算術、地理、物理化學竝ニ英語トス

手當　在學中男子ニハ日額金二十五錢、女子ニハ金二十錢ヲ給ス

修業期間　約七箇月ニシテ東京ニ於テ養成ス

保證人　東京、埼玉、群馬、千葉、山梨、茨城、栃木ノ各府縣ニ居住シ且ツ直接國稅五圓以上ヲ納付シ又ハ土地若クハ家屋ヲ所有シ獨立ノ生計ヲ營ム成年者トス

願書受理　本月二十日限、試驗ハ來ル三月一、二兩日東京（芝區芝公園地第十三號地當局通信生養成所）及宇都宮（宇都宮郵便局）ニ於テ執行ス受驗地ハ履歴書ノ餘白ニ朱記スヘシ

志願手續等ハ最寄電信取扱局ニ就キ承合スヘシ

受驗者ハ當日午前第八時三十分マテニ筆墨、硯紙、「ペン」及「インキ」持參洋服若クハ袴著用ノ上受驗場所ニ出頭スヘシ

○免狀亡失

第六二六號　乙種三等狩獵免狀　豐能郡豐中村大字南蟲木三十九番屋敷　竹中　伊三郎

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　大阪府

城甲第三號　乙種三等狩獵免狀　城崎郡城崎町ノ内湯島村三百十六番地　篠原　千代松

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　兵庫縣

第二四號　乙種三等狩獵免狀　勢多郡下川淵村大字新堀三〇平民　田中　喜市

右亡失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　群馬縣

第一五二七號　乙種三等狩獵免狀　度會郡五ケ所村大字五ケ所浦　河村　安太郎

第一九二八號　同上　鈴鹿郡牧田村大字箕所　室　安太郎

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　三重縣

第一五號　乙種三等狩獵免狀　坂田郡息郷村大字番場二一四番地　山田　三治郎

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　滋賀縣

第四五七〇號　乙種三等狩獵免狀　西筑摩郡大桑村　淵野　長吉

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　長野縣

第九號　乙種三等狩獵免狀　臨澤郡金ケ崎村字三ケ尻十九番地　小石川熊之助

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　巖手縣

益第三一九號　乙種三等狩獵免狀　美濃郡道川村　鼠谷　善市

右紛失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　島根縣

第三五一三號　乙種三等狩獵免狀　神石郡小野村　秋山　金太郎

第三七二五號　同上　雙三郡川西村　坂田　善太郎

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　廣島縣

豐第一一九號　乙種三等狩獵免狀　豐浦郡小月村字上市　重本　鴻作

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　山口縣

鳥第七三號　乙種三等狩獵免狀　有田郡岩倉村大字谷一一二番地平民　加治　知市

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　和歌山縣

第四二六號　乙種二等狩獵免狀　京都郡稗田村六百七十番地平民醫師　定村　正則

第二八七一號　乙種三等狩獵免狀　宗像郡吉武村大字吉留二千四百三十五番地平民農　大和　伊太郎

右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　福岡縣

第七六號　乙種二等狩獵免狀　揖宿郡頴娃村郡九千二百六十七番地　井上　篤彦

第三四號　乙種三等狩獵免狀　鹿兒島市清水町六十番地イ號　入田　新次郎

第一一八號　同上　揖宿郡指宿村東方二千二百八十八番地　山下　直哉

第一四六二號　同上　同郡同村西方四千七百四番戸一號　豐留　暖太郎

第一七七六號　同上　薩摩郡下東郷村田海百六十五番戸　新原　計佐市

右孰モ紛失ノ旨屆出テタリ

明治四十四年二月　鹿兒島縣

○土地編入

濱名郡舞坂町大字舞坂地先水面埋立地田段別一町四段九畝二歩、宅地段別五畝十三歩、堤塘段別三段一畝二十八歩、道路段別四畝四歩、物揚場段別二十一歩ヲ舞坂町ニ編入シ其境界ヲ變更シタリ

明治四十四年二月　靜岡縣

○購買入札

一小劑石　千五百五十立坪　大藏省臨時建築部神戸支部納

入札保證金見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當支部ニ就キ入札規則、契約書案、注文書及持込日限書等熟覽ノ上本月二十三日午前十一時限入札書ヲ當支部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ大藏省臨時建築部神戸支部長齋藤重高擔任ス

明治四十四年二月八日　大藏省臨時建築部神戸支部

一會議室用卓子六脚外七點

入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事スル旨證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及仕樣書等熟覽ノ上本月二十三日午前十一時限入札保證金ヲ添ヘ入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ教育總監部庶務課長町田彦二擔任ス

明治四十四年二月八日　教育總監部

一鐵製廢壓　七百二十箇　神奈川縣横須賀市重砲兵第二聯隊納

入札保證金百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十二日マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本ヲ熟覽シ同二十三日午前十時當部ニ入札スヘシ

此契約ハ第一師團經理部長日疋信亮擔任ス

明治四十四年二月八日　第一師團經理部

第一號　大麥　六千八百貫匁　大阪屯在部隊納

第二號　精米　二百三十石　篠山屯在部隊納

第三號　同　二百三十石　和歌山屯在部隊納

第四號　同　八十五石　深山屯在部隊納

以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上、入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ本月十日正午十二時マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上營業證明書ヲ差出シ同十四日午前十時限入札保證金ヲ納付シ同十一時當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ第四師團經理部長大野賢一郎擔任ス

明治四十四年二月八日　第四師團經理部

第一號　精米　百三十石　普通寺及丸龜屯在部隊納

第二號　大麥　千五百貫匁　普通寺屯在部隊納

第三號　藁　一万五千貫匁

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上引續キ斯業ニ從事シアル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間内）ニ第十一師團經理部殘留員ニ出頭シ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上本月二十二日午前十一時限前記殘留員ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ在普通寺第十一師團經理部殘留主計正中島昂擔任ス

明治四十四年二月八日　第十一師團經理部殘留員

一直流電流計　二箇　納期本年六月十五日　一老象皮以下二脚　同　來ル三月十日

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十四日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長篠田重式擔任ス

明治四十四年二月八日　横須賀海軍工廠會計部

○工事請負入札

一鐵筋混凝土函下部型枠一組製作一式　大藏省臨時建築部神戸支部納

入札保證金見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右請負望ノ者ハ當支部ニ就キ入札規則、契約書案、仕樣書、繪圖面及持込日限書等熟覽ノ上本月十五日午前十一時限入札書ヲ當支部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ大藏省臨時建築部神戸支部長齋藤重高擔任ス

明治四十四年二月八日　大藏省臨時建築部神戸支部

○入札拂下

昨七日木欄内掲載青森大林區署公告ノ續

同第五一七號

同上田老村大字乙部一八地割字ケラス九九番國有林

一實測面積二一町九段三畝二歩

一松一四七本　此材積五九四尺〆一一

一同七八本　同八棚四二

一雜一一六四一本　同四五三棚七八

同第五二〇號

同上山田村大字山田一九地割字小田山一三六番第二〇地割字内野七七番國有林

一實測面積一一四町九畝八歩

一松七七本　此材積一三二尺〆九四

一同二五四本　同三二棚七八

一雜三五五〇八本　同二七五一棚四七

同第一六一號

同上織笠村四地割字戸澤六番國有林

一實測面積一町六段二一歩

同第二四一號

同上川井村大字古田一地割字三ッ石九五番ノ二國有林

一實測面積一三町七段三畝二八歩

一雜一八九四本　此材積一四三棚六七

同第一二〇號ノ一

同上磯鶏村大字磯鶏四地割字沖四七番ノ一國有保安林

一實測面積三町八段九畝八歩

一松四四七本　此材積二七五二尺〆一〇

一同三四〇本　同一八棚一四

一杉一〇本　同一八尺〆六九

同第五四八號

同上田老村大字攝待一地割字向新田三六番國有林

一實測面積三段七畝一一歩

一杉五四本　此材積一七三尺〆七四

一根二八本　同五〇四尺〆一五

一松一本　同二尺〆三一

一雜一六本　同五棚五一

以上本月二十日宮古小林區署ニ於テ公賣ス

盛岡小林區部内

平第七九七號

陸中國巖手郡御處村大字西安庭第四二地割字新平六二番國有原野

一實測面積一四町四段九畝一四歩

一松六六〇本　此材積一九棚五〇

同第九四四號

同上第四五地割字上二面四四番ノ二國有原野

一實測面積二町五段八畝一歩

一松二二本　此材積一四尺〆五九

一松一七二本　同一一棚五六

同第九〇九號ノ内

同上第四九地割字林平一七九番ノ内一國有林

一實測面積二町四段一五歩

一松三一本　此材積三四尺〆一〇

一松二三五本　同五棚八八

一雜二〇本　同〇棚四五

同第九四五號ノ二

同上第四四地割字大面一三番ノ内國有原野

一實測面積一町二段五畝一九歩

同第八一三號

同上第三七地割字除キ一一六番ノ二ノ二國有原野

一實測面積六町二段歩

一松七本　此材積四尺〆一四

一松一八六本　同九棚三〇

一小柴五〇〇束

同第八一九號

同上第三四地割字下矢川一五番ノ一國有原野

一實測面積六町一段五畝一九歩

一小柴一〇束

同第八二五號ノ一

同上第九地割字矢川三八番ノ二内國有原野

一實測面積五九町九段七畝一五歩

一松九〇一九本　此材積一二四棚三一

一小柴一七八〇束

同第八二八號

同上第一一地割字皂角八番ノ一國有原野

一實測面積一七町二段二畝一五歩

同第八三五號

同上第一四地割字長谷地五八番ノ一國有原野

一實測面積二町七段七畝一五歩

同第八七八號

同上大字南畑第一八地割字小淵五〇番ノ二國有原野

一實測面積九段六畝一三歩

一雜三二八本　此材積一九棚

同第八八七號

同上第二二地割字小深澤二一番ノ一國有原野

一實測面積八段七畝一五歩

同第八八八號

同上三六番國有原野

一實測面積七畝二〇歩

同第八九八號

同上第二八地割字女夫石五番國有原野

一實測面積四段一八歩

第8287号　本文

第8218号　本文

第8287号 本文

山口縣阿武郡吉部村第二百四番屋敷
相續財産管理人　中原谷五郎
當裁判所ハ檢事山村實一郎ノ請求ニ依リ前記中原谷五郎ヲ右被相續人ノ相續財産管理人ニ選任シタリ
明治四十四年二月二日
萩區裁判所
判事　岡田陸藏

○準禁治産宣告

大阪府北河內郡四條村大字中垣內百四十六番屋敷　藤井幾太郎
右ノ者ニ對シ準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十四年二月三日
大阪區裁判所
判事　瀨古圓

廣島縣蘆品郡常金丸村大字常二千六百五十番地平民農戸主　石口利一
明治十二年五月二十六日生
右ノ者ニ對シ其妻石口トモノ申立ニ因リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ
明治四十四年二月二日
福山（廣島地方裁判所管內）區裁判所
判事　淀川正武

大分縣大分郡松岡村大字松岡三千八百八十五番地平民戸主　元杭森三郎
弘化四年二月四日生
右準禁治産ヲ宣告シタリ
明治四十四年一月三十一日
大分區裁判所
判事　橫手嘉一

○準禁治産宣告取消

長野縣上水內郡信濃尻村大字古海四千百四番地平民農　荻原喜左衞門
明治十三年八月七日生
右ニ對シ明治四十一年四月二十九日當區裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ長野縣上水內郡信濃尻村大字古海四千百四番地荻原ミヤノ申立ニ因リ明治四十四年一月三十一日之ヲ取消シタリ
明治四十四年二月四日
長野區裁判所
判事　野村定次

○公示催告

一株式會社名古屋銀行振出第三一五號小切手一枚
但
金額　金一万一千二百圓
振出人　愛知縣名古屋市西區傳馬町六丁目株式會社名古屋銀行
署名者同行支配人代理神野鍵太郎
支拂人　愛知縣豐橋市大字本株式會社愛知銀行支店
受取人　持參人拂但銀行拂
振出年月日　明治四十四年一月十八日
支拂地　豐橋市
右小切手ニ付キ愛知縣名古屋市西區玉屋町株式會社愛知銀行取締役渡邊義郎ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ明治四十四年九月四日午前九時迄ニ當區裁判所ニ權利ヲ届出テ且ツ小切手ヲ提出スヘシ若シ右期日マテニ其届出及提出ヲ爲サヽルトキハ其小切手ノ無效ヲ宣告スヘシ
此旨催告ス
明治四十四年二月三日
豐橋區裁判所
判事　松原久之

明治四四年（チ）第六號
長崎縣西彼杵郡香燒村千九十番地平民漁業
不在者　山崎千代吉
明治十四年一月一日生
利害關係人山崎利七ヨリ不在者山崎千代吉ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十四年九月十三日午前九時迄ニ生存ノ届出ヲ爲ス可シ若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受ク可シ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲ス可シ
明治四十四年二月二日
長崎區裁判所
判事　後藤一德

明治四四年（チ）第七號
長崎縣西彼杵郡香燒村百九十二番戸平民漁業
不在者　中川善太郎
慶應元年十一月十日生
利害關係人中川ナツヨリ不在者中川善太郎ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十四年九月十三日午前九時迄ニ生存ノ届出ヲ爲ス可シ若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受ク可シ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲ス可シ
明治四十四年二月二日
長崎區裁判所
判事　後藤一德

明治四四年（チ）第八號
長崎縣西彼杵郡香燒村二百三十五番戸士族漁業
不在者　犬塚梅次郎
明治二年五月一日生
利害關係人犬塚キクヨリ不在者犬塚梅次郎ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十四年九月十三日午前九時迄ニ生存ノ届出ヲ爲ス可シ若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受ク可シ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲ス可シ
明治四十四年二月二日
長崎區裁判所
判事　後藤一德

明治四十四年（チ）第一號
長崎縣北松浦郡佐々村大字市瀨九百七十六番戸士族無職
不在者　柴山嘉吉
慶應元年五月六日生
右ノ者ニ對シ其弟久米吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタリ因テ不在者ハ明治四十四年九月十五日迄ニ當裁判所ニ生存ノ届ヲ爲スヘシ若シ其届出ヲ爲サヽル時ハ失踪ヲ宣告セラルヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲナスヘシ
明治四十四年二月三日
佐世保區裁判所
判事　牧龍太

熊本縣玉名郡春富村中和仁千三百二十番地戸主平民農業
不在者　坂田庄五郎
天保四年九月二十日生
右者ニ對シ長男長太郎ヨリ失踪宣告申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十四年八月十五日迄當區裁判所ヘ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ
明治四十四年一月三十一日
高瀨區裁判所
判事　田口克輝

○失踪宣告

神戸市兵庫永澤町四丁目三十一番地平民二等機關士
不在者　吉田留七郎
明治六年十月二十二日生
右ノ者ニ對シ利害關係人吉田宗三郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ本日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十四年一月三十一日
神戸區裁判所
判事　上野魁春

明治四三年（チ）第一八號
長崎縣西彼杵郡脇岬村八十四番戸平民漁業
不在者　西川力松
明治三年九月四日生
右ニ對シ利害關係人西川キンノ申立ニ因リ當裁判所ハ明治四十四年二月三日午前十時失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十四年二月三日
長崎區裁判所
判事　後藤一德

○華族世襲財産解除

東京府東京市芝區南佐久間町二丁目ノ內
一市街宅地八十五坪五合二勺
右侯爵德川賴倫所有ノ世襲財産明治四十四年二月六日解除セシ旨宮內大臣ヨリ通達セラル
明治四十四年二月八日
東京府

○兌換銀行券發行週報

兌換銀行券發行高每週平均高報告（自明治四十四年一月二十九日至明治四十四年二月四日）

兌換銀行券發行高		三六〇、〇七九、三二五・〇〇〇
	金貨及金塊	二一七、二六〇、六二二・〇〇〇
	準備合計	二一七、二六〇、六二二・〇〇〇
準備竝保證	國債	三九、八五七、九六六・〇〇〇
	大藏省證券	一九、四一七、〇五〇・〇〇〇
	政府證券	三三、二五〇、〇〇〇・〇〇〇
	證券	三五、四〇〇、〇〇〇・〇〇〇
	商業手形	一四、八九三、六八〇・〇〇〇
	保證合計	一四二、八一八、七〇三・〇〇〇
	制限超過高	二二、八一八、七〇三・〇〇〇

明治四十四年二月七日
日本銀行

○營業週報

營業每週報告（明治四十四年二月四日）

負債ノ部	
資本金	六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金其他株主ニ屬スル勘定	三一、三四七、六一一・五八四
兌換銀行券發行高	三四〇、七七九、七二八・五〇〇
政府預金	二二五、八七二、八五五・二六四
國債元利支拂基金	四五、四一九、九九一・九七五
國債募集金上納未濟高	五七〇・〇〇〇
預金	一、九五一、〇七四・九六九
他店借	一九、七〇〇・一五〇
總計	七一五、三九一、五三二・四四二
資産ノ部	
拂込未濟資本金	二二、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
割引手形	四〇、八五八、二七三・八〇〇
買入外國手形	一七、一八八、五〇七・八八〇
政府法定貸金	二二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
政府一時貸金	九、一五〇、〇〇〇・〇〇〇
政府假納金	四、六〇七・五〇〇
貸付金	三四、四〇六、〇七九・一六四
代理店及派出所勘定	二八五、七五九、九三二・六五八
他店貸	一六五、九七六・〇五〇
本支店出張所間未達勘定	三、六〇四、〇五三・一七〇
國債	五五、六六三、九四二・四〇〇
所有物	二、三二〇、三一八・五五八
通貨及地金銀	二二一、七六九、八四一・二六二
總計	七一五、三九一、五三二・四四二

明治四十四年二月七日
日本銀行

○營業報告

株式會社日本興業銀行第十八期營業報告（明治四十三年下半期）

貸借對照表

負債ノ部	
一債券發行高	三六、七一八、〇〇〇・〇〇〇
一當籤債券仕拂未濟高	四九、三〇〇・〇〇〇
一仕拂未濟債券利息	七二四、三一〇・〇七〇
一債券利金所得稅	九・九三〇
一定期預り金	三、六七五、一四一・九二〇
一當座預り金	四九五、三九六・五二〇
一特別當座預り金	三六七、六八六・六七〇
一別段預り金	四、三三六、四二三・九四〇
一國債元利預り金	七三一・七五二
一信託資金	一、五七九、〇五三・四四九
一信託取立金	二七八・九八五
一資本金	一七、五〇〇、〇〇〇・〇〇〇
一損失補塡準備金	九九一、〇〇〇・〇〇〇
一配當平均準備金	三九八、〇〇〇・〇〇〇
一別途積立金	二八〇、〇〇〇・〇〇〇
一配當金	二八、二九四・五〇〇
一仕拂未濟配當金	一二、三五七・七六四
一利益金	八六九、一七一・九九〇
合計	六八、〇二五、一五七・四九〇
資産ノ部	
一定期貸付金	二六、二三三、〇七五・三六〇
一割引手形	三、五六七、四三四・二三〇
一當座預ケ金	三一八、一五三・六三八
一通知預ケ金	一〇、九三八、九一四・六〇〇
一國債證券	九、七六三、〇四七・八二四
一地方債證券	五、八三二、四三五・二〇一
一社債券	五、八八三、四七五・〇〇〇
一債券整理勘定	一、七〇六、〇〇〇・〇〇〇
一雜勘定	二、一七一・四七四
一諸仕拂基金	二、一二三、八五五・六一九
一信託立替金	七七八・八六〇
一拂込未濟資本金	一、三五〇、〇〇〇・〇〇〇
一地所	五九、一四八・三〇〇
一家屋	六五、〇二二・八六九
一什器及金庫	八、五一六・五〇〇
一金銀有高	二七三、一二八・〇一五
合計	六八、〇二五、一五七・四九〇

損益勘定

一當期總益金	二、〇八三、四一三・二三五
一前期繰越金	六六、六三〇・五二七
合計	二、一五〇、〇四三・七六二
一當期總損金	一、二八〇、八七一・七七二
差引 一當期利益金	八六九、一七一・九九〇
內	
一損失補塡準備金	一〇五、〇〇〇・〇〇〇
一配當平均準備金	二〇、〇〇〇・〇〇〇
一第一配當金（年五分）	四〇六、二五〇・〇〇〇
一重役賞與金	二五、〇〇〇・〇〇〇
一第二配當金（年三分）	二四三、七五〇・〇〇〇
一後期繰越金	六九、一七一・九九〇

右之通候也

明治四十四年二月

株式會社日本銀行總裁　理事　理事　理事　副總裁　岩村清一
理事　井上辰九郎
理事　井田重久
理事　片岡直溫
理事　伊東巳代治
理事　添田壽一

島　農商務大臣　男爵　大倉喜八郎
島　農商務大臣　男爵　乙骨貞五郎

○告示

○官報發賣所

○官報廣告

第8128179号　本文